



COVER PHOTO

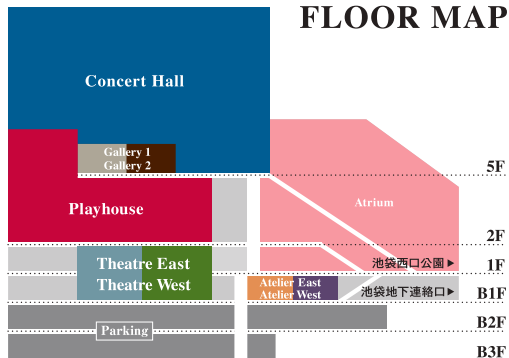
調 Phrase

多田美波 Minami Tada

東京芸術劇場コンサートホール 7階ホワイエ
壁面レリーフ(部分)

東京 芸術 劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

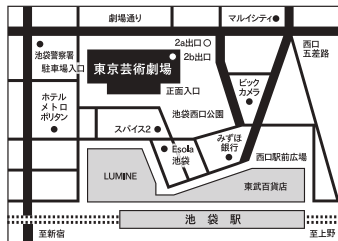


FLOOR MAP

1F 東京芸術劇場ボックスオフィス
(チケット・総合案内カウンター)
| 予約 | **0570-010-296**
| お問合せ | (休館日を除く10:00~19:00)

5F 託児サービス
東京芸術劇場で公演ご鑑賞のお客様の
お子様をお預かりします。(要予約)
HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた
| お問合せ | **0120-415-306**
(平日9:00~17:00)

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場
| 利用料金 | 300円/30分
| 営業時間 | 7:00~24:00
| お問合せ | **03-6914-0019**



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
| 開館時間 | 9:00~22:00 (休館日も除く)
| お問合せ | **03-5391-2111**
JR. 東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より
徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

〈東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。

| | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|-------------------|
| アサヒグループホールディングス株式会社 | JXTGホールディングス株式会社 | トヨタ自動車株式会社 | 株式会社三菱UFJ銀行 |
| 住友生命保険相互会社 | 株式会社資生堂 | 西池袋熱供給 株式会社 | ミュージックスタジオ・フォルテ |
| Bloomberg L.P. | 西武鉄道株式会社 | 日本生命保険相互会社 | ヤマハサウンドシステム株式会社 |
| キッコーマン株式会社 | ソニー銀行株式会社 | 日本電信電話株式会社 | 有限会社ユーシーベンディング商会 |
| 住友化学株式会社 | 第一生命保険株式会社 | びあ株式会社 | 養老乃瀧株式会社 |
| | 大和証券株式会社 | 東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅 | 読売新聞東京本社 |
| アサヒグループ食品株式会社 | 株式会社竹中工務店 | フジテック株式会社 | 立教大学 |
| 株式会社イープラス | 多摩美術大学 | 株式会社 フジテレビジョン | 株式会社ルミネ 池袋店 |
| ANAホールディングス株式会社 | 株式会社帝国ホテル | HOTEL URBAN(ホテルアーバン) | レンゴー株式会社 |
| オルガノ株式会社 | 株式会社TBSテレビ | ホテルメトロポリタン | 株式会社ローソンエンタテインメント |
| 香山壽夫建築研究所 | 株式会社テレビ朝日 | 株式会社松尾楽器商会 | 株式会社 WOWOW |
| 国際興業株式会社 | 株式会社テレ・ポーズ | 株式会社 松田平田設計 | 渡邊建設株式会社 |
| 株式会社サンシャインシティ | 東京地下鉄株式会社 | 丸茂電機株式会社 | |
| 三精テクノロジー株式会社 | 東京臨海熱供給株式会社 | 株式会社ミクシィ | |
| サントリーホールディングス株式会社 | 東武鉄道株式会社 | 三菱重工業株式会社 | |
| 株式会社ジェイアール東日本ビルディング | 株式会社東武百貨店 | 三菱地所株式会社 | |
| | 凸版印刷三幸会 | | |

他 匿名5法人
2018年12月25日現在

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。事業調整係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2116

芸劇 BUZZ vol.26

2019年1・2・3月号

《編集・発行》東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

《編集・デザイン》COM Works 《印刷》(株)技芸堂

平成30年12月25日発行

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.26 2019

1.2.3.



🎖 特集・PICKUP

シアターオペラvol.12
モーツァルト 歌劇
『ドン・ジョヴァンニ』全幕

海外オーケストラシリーズ
スイス・ロマンド管弦楽団

芸劇ウインド・オーケストラ
アカデミー 第5回演奏会

芸劇&読響
0才から聴こう!!／4才から聴こう!!
春休みオーケストラ
コンサート

第8回
音楽大学フェスティバル・
オーケストラ ほか

作:フロリアン・ゼレール
「Le Père 父」

マニユエル・ルグリ
「スターズ・イン・ブルー」
バレエ&ミュージック

朗読「東京」第六回／
「生きづらさを抱える人たちの物語」／
「世界は一人」ほか

《ジャポニスム2018:響きあう魂》
パリ・レポート

🎖 CALENDAR

1月・2月・3月

「転換期にある日本の文化政策を考える」
レクチャー／ストリートアーティスト・
アカデミー レクチャー／芸劇+まちがく ほか

🎖 INTERVIEW

東京芸術劇場

芸術監督 野田秀樹

アーツアカデミー 東京芸術劇場
プロフェッショナル人材養成研修 ほか

東京芸術劇場シアターオペラvol.12

全国共同制作プロジェクト

モーツァルト

歌劇『ドン・ジョヴァンニ』全幕

(新演出、英語字幕付、日本語上演)

音楽とダンスと 言葉の出会いが生み出す 新たな時代のオペラ

日本のクラシックシーンを牽引する名指揮者 井上道義と、
多彩なジャンルで活躍するダンサー・演出家の森山開次。
『ドン・ジョヴァンニ』新演出に挑む二人に、
その意気込みを聞いた。

森山さんにお客さんを踊らせてほしい

—— 今回の企画が実現に至った経緯を教えてください。

井上 『ドン・ジョヴァンニ』を誰とやろうかという時、「冒険したい」と思いついたのが森山さんでした。僕が音楽監督をしていた石川県立音楽堂の邦楽ホールでよくクリエイションをしていて、嘘のない仕事ぶりが印象的だったんです。

森山 今まで見守っていただいていた井上さんと一緒にできるのが、楽しみです。僕にとっては、舞台の世界で最初に勉強したのが、音楽座ミュージカル『マドモアゼル・モーツァルト』。ドン・ジョヴァンニを踊る精霊役だったので、すごく縁を感じます。

井上 彼は、本当は踊りたいはずだと思う。でも今回の僕の役割は、彼を踊らせてないこと。むしろお客さんを踊らせてほしい。アンビヴァレンツな役目です(笑)。

森山 確かに、踊らないことは僕にとって大きなチャレンジです。曲を聴いて身体に入れ、歌手の方々やオーディションで選んだ10人の女性ダンサー達と共に、作品全体を豊かに作っていきたくと思っています。

ダンスと女性を通して描く、新たなドン・ジョヴァンニ像

—— 演出のイメージはどのように？

森山 女性の胎内をイメージしています。胎内にドン・ジョヴァンニがいて、ドンナ・アンナとドンナ・エルヴィーラとツェルリーナが彼を取り囲んでいる。

井上 この作品の真の主役は女性3人です。女性は誰でも彼女達のような部分を持っている。女性ダンサー達は、ドン・ジョヴァンニの内面も表すだろうけれど、何よりも女性達の内面を表現してくれるでしょう。だって、それこそが、ドン・ジョヴァンニを地獄に落とすのだから。



(左)森山開次 (右)井上道義

©Hikaru

—— そうしたドラマを、男性であるお二人が作られるのも興味深いです。

森山 僕にとって、女性は永遠の謎。だからこそ興味をそそられます。女性を通して、これまでとは違うドン・ジョヴァンニ像を描き出したいですね。基本的に、僕は物事をダブルミーニングでとらえたいので、地獄落ちにしても、生きるとか生まれ落ちるとか、そういうことに繋がるかもしれないとも考えています。ダンスの強みは抽象的な部分を担い、お客さんに多様な解釈の余地を与えられること。ダンスが添え物にならないよう、時にマエストロに食いついていきたいですね。

—— 歌手の皆さんも踊るかもしれないとか？

井上 そうです。オーディションをして、ちゃんと動ける人を採用しました。

森山 だから可能性が広がりますよね。いわゆるダンスというより身体表現という意味で、歌う身体も音楽に乗せて表現する身体も、チョイスとして持って、演出に臨みます。

「日本語によるオペラ」の新しい時代へ

—— 今回は、全編日本語上演です。

井上 イタリア語を解さない森山さんに縦横無尽に演出をしてもらうには、やはり日本語がいいだろう、と。僕は40年前から少しずつ日本語上演にチャレンジしてきました。モーツァルトもドイツ語のオペラを書いたし、今も欧州では様々な作品を母国語で上演している。もっととどろろん日本語でオペラを上演すればいいと思うんです。今は、毎晩頭を悩ませながら、聴き取りやすい言葉を探しているところです。—— ロシア人のヴィタリ・ユシュマノフさん、ウクライナ人のデニス・ビシュニャさんが出演されますね。

森山 お二人とも、日本語がとても上手な方です。

井上 彼らは大変ですが、日本に海外の方がたくさん入ってきている現代ならではの表現になるでしょう。今回は、“演出を踊りの方がやる”“日本語でモーツァルトをやる”“ロシア人やウクライナ人が日本語で出演する”という3つの挑戦がある。お客さんにも一緒にこの挑戦を楽しんでほしいですね。今回だけでなく、先へ繋げることができる試みだと思います。

森山 チラシに「オペラ×ダンスの邂逅」とあるように、この機会に大いに出会い直し、マエストロから多くを学びながら、自分なりの表現をしていきたいです。

取材・文：高橋彩子(舞踊・演劇ライター)

1月26日(土)・27日(日) 14:00開演 コンサートホール 富山、熊本公演あり 詳細はP12へ

総監督・指揮：井上道義 演出・振付：森山開次

管弦楽：読売日本交響楽団 合唱：東響コーラス

ドン・ジョヴァンニ：ヴィタリ・ユシュマノフ レポレツロ：三戸大久 ドンナ・アンナ：高橋絵理

騎士長：デニス・ビシュニャ ドンナ・エルヴィーラ：鷺尾麻衣 ドン・オッターヴィオ：金山京介

ツェルリーナ：小林沙羅 (1月26日出演)、藤井玲南 (1月27日出演) マゼット：近藤圭

ダンサー：浅沼圭 碓井菜央 梶田留以 庄野早冴子 中村里彩

引間文佳 水谷彩乃 南帆乃佳 山本晴美 脇坂優海香



ヴィタリ・ユシュマノフ



三戸大久



高橋絵理



デニス・ビシュニャ



鷺尾麻衣



金山京介



小林沙羅



藤井玲南



近藤圭

©Hikaru

東京芸術劇場 海外オーケストラシリーズ

スイス・ロマンダ管弦楽団



©Enrique Pardo

新時代を迎えたスイス・ロマンダ管弦楽団

伝説の巨匠アンセルメが創設した名門、

新しい芸術監督ジョナサン・ノットと来日。

歴代シェフたちとは一線を画す

現代感覚に満ちた指揮者との組み合わせは？

スイス・ロマンダ管弦楽団というオーケストラに、今の若い方はどのようなイメージをいだいているか、伺いたい気もする。というのは、私のような昔からのファンにとっては、「スイス・ロマンダ」は、創設指揮者・初代芸術監督のエルネスト・アンセルメ(1883～1969)の名と結びついて離れないからだ。そう、彼とこのオケが演奏するフランスやロシアの作品のレコードを、私たちはどんなに愛聴したことだろう！特にドビュッシーやフォーレの作品の演奏には、私はこの上なく陶醉したものだ。

このスイス・ロマンダ管弦楽団は、1968年初夏に初来日した。アンセルメは、既にその前年にシェフの地位を後任のパウル・クレツキに譲っていたが、この時はその2人そろってやって来た。優秀な録音で聴き親しんで来た、このオーケストラの明晰で瑞々しく美しい音色や、華麗かつ詩的なアンセルメの指揮をナマで聴けるとあって、私たちはホールに詰めかけたのだが、しかしそれは、—— レコードで聴き慣れたこの指揮者とオケのイメージとは、かなり違うものがあった。ある意味ではそれは当然である。彼らの本拠地、素晴らしい音響で有名なジュネーヴのヴィクトリア・ホールで、巧みなマイク・アレンジによる技術の粋を尽くして作られたレコードで聴く演奏と、気候も湿度も異なる東京のホールで響く実際の演奏とでは、音色も楽器のバランスも異なって聞こえるのは不思議ではない。

感性の自由な聴き手たちはそれを踏まえて彼らの演奏を愉しんだが、一方、「レコードで聴くほど優秀なオーケストラではない」とまで批評する人もいた。何かの雑誌で読んだ記憶があるのだが、その批評を耳にしたアンセルメが機嫌を損ね、「私のオーケストラの真価を知りたいなら、音のいいヴィクトリア・ホールで聴くべきだ」と言ったとか。それを聞いた批評家が、「それはおかしい。良いオケならこのホールでもいい音になるはずだ」と言ったとか、言わないとか。

変な話を蒸し返してしまったが、外国の演奏家をレコードでのみ判断す

る風潮が未だ残っていた当時の日本の音楽界には、こんな笑えぬ出来事もあったのである。

いずれにせよ、このスイス・ロマンダ管弦楽団は、創設以来、半世紀近くにわたって「アンセルメの楽器」そのものであった。そのイメージはあまりに強烈だったので、その後、いかなる優れた芸術監督が登場しても、昔からの聴き手にとっては、その「過去の偉大な影」を振り払うのが至難の業であったことは事実である。

クレツキのあと、芸術監督のポストは、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ホルスト・シュタイン、アルミン・ジョルダン、ファビオ・ルイーダ、ピンカス・スタインバーク、マレク・ヤノフスキ、ネーメ・ヤルヴィ——と受け継がれて来た。私が日本で聴いた範囲での印象では、サヴァリッシュとの公演(1976年)の際にはあまり面白くなく、アルミン・ジョルダン(1987年、91年、95年)の指揮では壮麗さが復活していてそれなりの演奏、ルイーダ(1999年)の時には色彩豊かなローカル色が確立されていて良かったという記憶がある。直近では、山田和樹が首席客演指揮者として同行来日した公演(2014年7月)があったが、この時は何となくヤマカズの引き立て役といった感があって——。

そこでいよいよ今回は、新しい芸術監督ジョナサン・ノットとのコンビでの初めての来日である。ノットは今、東京交響楽団の音楽監督として、意欲的なレパートリーの開拓と密度の濃い演奏で、特に若い聴衆には絶大な人気を得ている存在だ。スイス・ロマンダは、彼のシャープな感性と、どのような融合を示すことだろうか？アンセルメ時代のことはもういい。それを知らない若い聴き手たちは、きっとこたわりなく今のスイス・ロマンダを愉しむだろう。

文：東条碩夫(音楽評論)

4月13日(土) 詳細はHPへ
14:00開演 コンサートホール

指揮：ジョナサン・ノット

ヴァイオリン：辻彩奈

管弦楽：スイス・ロマンダ管弦楽団

曲目：メンデルスゾーン／

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調

マーラー／交響曲第6番



ジョナサン・ノット



辻彩奈

©Enrique Pardo

©Warner Classics

芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー 第5回演奏会

下野竜也が勇躍初登場 声楽との初共演も実現

芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミーは、東京芸術劇場が2014年に開始したプロフェッショナル管打楽器奏者育成プロジェクト。演奏技術の向上はもとより、キャリアアップ・ゼミなど多角的な研鑽を重ねた上で年度末の演奏会に臨んでいる。昨年度からは少数精鋭の布陣となり、演奏会はレッスンを受け持つ東京佼成ウインドオーケストラとの共演で開催。5回目を迎える今年度も、20名のアカデミー生が斯界トップ楽団の奏者と共に練磨した音楽を聴かせる。

今回の指揮は、アカデミー発足時から3年間ゼミの講師を務めた下野竜也。広島ウインドオーケストラの音楽監督でもある彼こだわりのプログラムが用意されている。まず全体は、下野が力を注ぐ“芸術性の高い邦人オリジナル曲”が主軸。毎回話題の委嘱作も、今回から「ハルモニウムジークプロジェクト」と銘打ってモーツァルトなどが好んだ小編成サウンドの新たな方向性を追求し、1年目は数々の賞に輝く酒井健治の新作が披露される。また後半



©Hikaru, 11

は「偉人の言葉」をテーマにした作品。キング牧師のスピーチに因んだ長生淳の「I still have a dream」がアカデミー生の夢と重ねられ、ヘレン・ケラーの言葉を用いたキャンプハウスの大作「アイヴィーグリーンからの交響曲」では、聴衆にとっても貴重な声楽との共演が実現する。

今年度は、池袋を中心に、都内各所で行うアンサンブル・コンサート「街角LIVE!」の機会が加わり、メンバーも例年以上に実践経験を積んでいる。1年の集大成たる公演に大いに期待したい。

文：柴田克彦（音楽評論家）

3月1日(金) 詳細はP15へ
19:00開演 コンサートホール

指揮：下野竜也 ソプラノ：木下美穂子
吹奏楽：芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー
東京佼成ウインドオーケストラ



©Naoya Yamaguchi



©Toshinobu Fukayaara, 12

芸劇&読響 0才から聴こう!!／4才から聴こう!! 春休みオーケストラ コンサート

お子さんと生演奏に触れ、 心豊かに春を迎えよう

赤ちゃんもお子さんもパパ・ママも、ご家族みんなで本格的なオーケストラを楽しむのが、東京芸術劇場と読売日本交響楽団による「春休みオーケストラコンサート」だ。春の恒例企画として人気を集めるこのコンサートは、午前は「0才から」、午後は「4才から」と、お子さんの年齢によって公演が分けられているのが特徴。赤ちゃんを抱いた親御さんにも、すこしお兄さんお姉さんになった4才以上のお子さんたちも、ゆっくりと生のオーケストラの響きを体感していただきたい。今年は指揮者に、自身も2才の女の子のパパ・鈴木優人が登場する。

午前も午後も約50分、お子さんたちは飽きずに聴けて、大人たちも満足できるプログラムをご用意。オープニングは元気な『カルメン』前奏曲。J.S.バッハのトッカータ(BWV565より)は、もともとオルガン曲。まずは冒頭をホールのパイプオルガンで鈴木優人自らが演奏。さらにオーケストラ・パージョンで演奏されるので、響きの違いを体感してほしい。「ドレミの歌」でおなじみの『サウンド・オブ・ミュージック』メドレーなど、華やかで親しみやすい



©Hikaru, 11

ナンバーも並ぶ。そして今年からは、「0才から」と「4才から」で、一部曲目を変えてお届け。オーケストラと一緒に歌えるような、人気ソングも飛び出す予定だ。さらに、第16回東京音楽コンクール金管部門第1位の三村梨紗がソリストとして登場！華麗なる妙技をたっぷりと披露してくれることだろう。

会場はベビーカー置き場や授乳スペースも完備。初めてのご家族も、気楽にコンサート・デビューを飾ろう。

文：飯田有紗（クラシック音楽ファシリテーター）

3月27日(水) 詳細はP16へ
コンサートホール
11:30開演(0才から入場可)／
13:30開演(4才から入場可)

指揮：鈴木優人 管弦楽：読売日本交響楽団
トランペット：三村梨紗 ほか



©Marco Borggreve



©Risa Mura

東京芸術劇場&ミューザ川崎シンフォニーホール共同企画

第8回

音楽大学フェスティバル・ オーケストラ

若い情熱が、 コバケンの炎で燃え上がる

首都圏にある9つの音楽大学のオーケストラが、それぞれに演奏を聴かせてくれる「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」は、それに各大学の校風が表れていて、その違いが味わえる楽しい企画。水準も申し分なく「聴かせる」演奏となっているのも魅力だ。その特別編として、各大学の選抜メンバーで構成されるのが、この「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」。2016年から地方の音楽大学も加わり、今回は北海道と沖縄の学生が参加する。腕に自信のある学生たちが、しのぎを削りながらも力を合わせてひとつの音楽を作り上げていく姿は、それだけでも感動的だ。

幼い頃から研鑽を重ねてきた音大生たちの演奏には、音楽する純粋な喜びがある。彼らとの共演で「心が躍っている」と楽しみにしているのは、日本が世界に誇る名指揮者・小林研一郎。情熱的な指揮で「炎のコバケン」とも呼ばれる彼が選んだのは、燃焼度の高い3作品。彼自身も得意とするレパートリーだ。最初の2つ「ローマの謝肉祭」(ベルリオーズ)と「1812年」(チャイコフス



小林研一郎

©山本倫子

キー)は、祝祭的な気分を大いに盛り上げてくれる力強い作品。学生たちの爆発する若いパワーを感じられるはずだ。続く「幻想交響曲」(ベルリオーズ)も、絢爛豪華なオーケストレーションによって聴き手を圧倒する作品。特に管楽器奏者の技量も問われるが、今回も期待以上の演奏となるに違いない。将来を嘱望される学生たちの意気込みも、しっかりと受け取りたい。

文：堀江昭朗（音楽ライター）

3月30日(土) 15:00開演 コンサートホール 詳細はP16へ
3月31日(日) 15:00開演 カルッツかわさき(川崎市スポーツ・文化総合センター)
指揮：小林研一郎 管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ
(首都圏9音楽大学+北海道&沖縄2音楽大学 選抜オーケストラ)

[参加音楽大学] 上野学園大学、国立音楽大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、
東京音楽大学、東京藝術大学、東邦音楽大学、桐朋学園大学、
武蔵野音楽大学、札幌大谷大学(北海道)、沖縄県立芸術大学(沖縄)

大和証券グループ presents 辻井伸行 日本ツアー《ドビュッシー・ラヴェル・ショパン》

2月22日(金) 14:00開演 コンサートホール

詳細はP14へ



辻井伸行

©Yuji Horii

印象派の名作とショパンの代表作に挑む、待望のソロ・リサイタル

辻井伸行の2018/19シーズン日本ツアーは、『ドビュッシー・ラヴェル・ショパン』と題し、自身の得意とする印象派とショパンを取り上げる。前半は、ドビュッシーの「2つのアラベスク」「映像 第1集」とラヴェルの「ソナチネ」を披露。辻井の超絶技巧ときらめくような響きが、色鮮やかで繊細な名曲を彩る。後半は、ショパンの「スケルツォ」全曲演奏に挑む。時に激しく時に柔らかな美しいショパンの傑作を、辻井ならではの迫真の演奏で堪能できる。素晴らしい時間となるだろう。抜群の人気と評価を誇る辻井伸行の待望のソロ・リサイタルを、どうぞお聴き逃しなく！

ピアノ：辻井伸行
【お問合せ】チケットスペース 03-3234-9999

アマデウスLIVE シネマティック・コンサート

2月23日(土) 15:00開演・24日(日) 14:00開演 コンサートホール

詳細はP14へ



スクリーンに甦る不朽の名画と迫力の生演奏

1984年制作の映画『アマデウス』。作曲家サリエリが天才モーツァルトに抱く、憧れと嫉妬、復讐心、葛藤や苦悩を克明に描いた、映画史上に残る傑作だ。「アマデウス LIVE」は、スクリーンに映される映画『アマデウス』に合わせ、全編に流れるモーツァルトの名曲の数々を生演奏で味わえる迫力のコンサート。今回は、世界的に大成功を収めているこのシネマティック・コンサートを、東京芸術劇場の音響で味わえる絶好の機会となる。ダイナミックで美しい映像と、オーケストラと合唱団が奏でる圧倒的な音楽に身をゆだね、「モーツァルトの宇宙」を心ゆくまで楽しみたい。

指揮：辻博之 管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢 合唱：アマデウス特別合唱団
【お問合せ】チケットスペース 03-3234-9999

東京芸術劇場
兵庫県立芸術文化センター共同製作
「Le Père 父」
作：フロリアン・ゼレール 演出：ラディスラス・ショラー

仏気鋭の作家の戯曲を 橋爪功らで日本初演

老いゆく人間の混乱と孤独を観客に体感させる
極上の悲喜劇。“現代版『リア王』”に、
オリジナル初演版演出家ラディスラス・ショラーと
日本人キャストが挑む。

仏演劇界をけん引する劇作家&演出家のタッグ

人はみな時と共に肉体や精神が衰え、積み上げてきた人生はおろか、その「人」そのものが跡形もなく壊れてしまう時がある。そんな、誰もが必ず直面する「老い」を、深い人間洞察をもとに戯曲化したのが『Le Père 父』だ。

作者フロリアン・ゼレールは教師から作家に転身後、程なく戯曲の執筆も開始。まだ30代後半ながら、フランスを代表する劇作家としてその作品は世界中で高く評価されている。中でも『Le Père 父』は2012年の初演から2年半ものロングランとなり、フランス演劇賞最高位のモリエール賞最優秀脚本賞などを受賞。以降もイギリスのウエスト・エンド、アメリカのブロードウェイを含む世界30か国以上で上演され、各国の名優たちが演じてきたゼレールの出世作だ。本国でのオリジナル初演に続き、日本初演を手掛ける気鋭の演出家ラディスラス・ショラーに話を聞いた。

「ゼレールは、パリを離れ地方の劇場で仕事をしていた私の作品に注目し、わざわざ会いに来て“いつか僕の戯曲を演出して欲しい”と言ってくれた。初対面から非常に知的でフレンドリーな人物だと感じました。その後、最初に任せてくれたのが今作です。『Le Père 父』は高い評価を得ることができ、私たち二人にとっての代表作になりました」

観客は主人公の頭の中を体験することになる

主人公は80歳のアンドレ。頑なな性格は老いと共に増長し、娘アンヌや周囲の人々も手を焼いている。物忘れに加え、人や場所の認知の混乱など、記憶や意識にも異変が起き始め……。戯曲は、アンドレに見えている“自分

がいつどこにいるかも曖昧で、身近なはずの人々が誰かもわからなくなる世界”、その困惑と混乱をそのまま映すように描き出す。

「今作は『La Mère 母』(2010年初演)と『Le Fils 息子』(2018年初演)と併せた“家族三部作”の一本で、これらはみな家族の中で起こる悲劇が題材であると同時に、時間軸が錯綜



ラディスラス・ショラー



したり、主人公の意識の混乱をそのまま描くような共通の文体で書かれている。つまり観客は主人公の頭の中をそのまま体験することになるのです。演劇的で豊かな企みに満ちているうえ、笑いも涙も感動も織り込まれた、しかも人間誰しもが直面する普遍的なテーマを内包する優れた戯曲だと思います」

さらに「劇中でバラバラと展開するドラマに繋がりや一貫性を求めているのはアンドレだけ。他の人物や情景は断片に過ぎません。ロジックにとらわれず、瞬間瞬間に身を委ね、劇世界に存分に巻き込まれることが、より作品を楽しむための秘訣だと思います」と続けた。

日本での創作で戯曲の新たな魅力を発見したい

この日はアンドレを演じる橋爪功を含む数人の俳優が集まり、ショラーとの軽い本読みやミーティングが行われたという。

「日本で演出するのは初めて。言語の違いはぬぐいようがありませんが、ゾメさん(橋爪の愛称)はじめ、出演する皆さんの声で聴いた台詞からは、人間性や真摯な心、ユーモアに国境はないということが感じられました。キャスト、スタッフとさらにコミュニケーションを重ね、言葉を越えた笑いや誠実さ、感動などをこのカンパニーと一緒に探していきたいと思います」との感想で、続けて「ストレートプレイから演劇の世界に入りましたが、後にミュージカルも手掛けるようになり、最近は映画も一本監督しました。常に新たなことに挑戦すること、朗らかに仕事をするのが私のポリシー。日本での経験は豊かな学びの場になるはずで、日本でのクリエイションは、私がこれまで気づけなかった戯曲の魅力を発見させてくれるはず。稽古が始まるのがとても楽しみです」と笑顔で語った。

これまで日本と言えば、自身の子どもたちと楽しんでいた宮崎駿作品のイメージが強く、「あの豊かなイマジネーションはフランス人を凌駕する」と言うショラー。『Le Père 父』公演を通し、彼の中の日本のイメージが更新されるのかも興味深いところだ。

取材・文：尾上そら(ライター)

2月2日(土)～24日(日) シアターイースト 詳細はP13へ
作：フロリアン・ゼレール 演出：ラディスラス・ショラー
出演：橋爪功 若村麻由美 壮一帆 太田緑ロランス 吉見一豊 今井朋彦 上田、高知、名古屋、兵庫、松本公演あり 特設サイト www.father-stage.jp

マニユエル・ルグリ
「スターズ・イン・ブルー」
バレエ&ミュージック

音楽家とダンサーたちが、 純粹にぶつかり合う

バレエ界の生ける伝説マニユエル・ルグリが、
愛してやまぬダンサーや精鋭音楽家たちと、
ライブ音楽とダンスが響き合う
陶酔のプログラムを贈る

綺羅星のようなトップダンサーそして音楽家たち

パリ・オペラ座バレエの歴史の中でも、エトワールの中のエトワールと称される伝説的ダンサー、マニユエル・ルグリ。現在はウィーン国立バレエ団の芸術監督を務めつつ、年に数回は舞台に立って今なお輝かしい芸術性を発揮している。そのルグリを中心に、オルガ・スミルノワ、セミョーン・チュージン、木本全優というトップクラスのバレエダンサーたちと、三浦文彰、田村響と若手精鋭の音楽家たちが集結。生演奏と共にパフォーマンスを繰り広げるバレエ&音楽コンサートが、「Stars in Blue- Ballet & Music」だ。

数々の栄光に包まれてきたルグリの新たな挑戦、それは音楽家たちと組みつつ4人のダンサーそれぞれの個性を生かし、音楽性豊かな新作を世に送り出すこと。パリ・オペラ座のエトワール時代から、ルグリは卓越した音楽性で知られ、誰よりも音楽を大切にするダンサー。“音楽は私の生命力でもあります。音楽家とダンサーたちが、ただ純粹にぶつかり合う。ダンサーの魂の見せ合いは、音楽とダンスが出会う美しい舞台になることでしょう”とルグリはメッセージを寄せている。

ルグリと初共演が話題を呼んでいるのは、ボリショイ・バレエのプリマ・バレリーナ、オルガ・スミルノワ。20代半ばながらも年齢に似合わない成熟を見せ、ボリショイを代表するダンサーへと成長した。美しく優雅な肢体で踊るクラシック・バレエだけでなく、ジョン・ノイマイヤーやジャン＝クリストフ・マイヨーといった現代の巨匠振付家のミューズとしても、インスピレーションを与え続けている。

さらにスミルノワとのパートナーシップで知られ、ボリショイ・バレエのみならず世界各地のバレエ団へのゲスト出演でも知られるダンスール・ノーブル、セミョーン・チュージン。ルグリの秘蔵っ子として、長い手脚と美しいつま先を誇り、ウィーン国立バレエのプリンシパルとして成長著しい木本全優も、日本発の貴公子としてその芸術性を見せてくれることだろう。

世界初演の魅惑的な2作品に注目

新作を提供するのは、バレエ、フラメンコ、民族舞踊…ジャンルと国境を越え、ザハロワなど世界中のトップスターに熱望されて作品をクリエーションして来た振付家／ダンサーのパトリック・ド・バナ。ルグリとスミルノワには、アレッサンドロ・パリッコ原作で映画化もされた小説を発想源とした『シルク(仮)』を振付ける。決して触れ合うことのない二人の沈黙の愛を描いたという。



©Ashley Taylor

チュージンと木本という男性ペアには、アルヴォ・ペルトの『鏡の中の鏡』に振付けた、兄弟愛についての作品を創作。ダンサーたちが踊っている空間にはダンサーだけでなく、音楽家たちの感情やエネルギーも加わることを想定して、豊かな空間を作りたいとバナは語っている。

このほか、スミルノワの『瀕死の白鳥』やスミルノワとチュージン共演の『タイスの瞑想曲』、ルグリが信頼を寄せるピアニスト滝澤志野と取り組んだソロ作品『Moment』など、音楽を大切にした美の極致の作品が上演される。

三浦文彰、田村響との共演で極上の響きのダンスを

ダンスにとって何よりも重要な要素である音楽を奏でるのは、ウィーンを拠点に国際的に活躍する俊英ヴァイオリニスト三浦文彰と、数々の賞に輝き、国内外のオーケストラと共演する若手ピアニスト田村響。ほとんどの演目がふたりによる生演奏で奏でられるだけでなく、それぞれのソロ演奏及びデュオ作品も披露される。大河ドラマ「真田丸」の主題曲の演奏で広く知られるようになった三浦は、3年前にもパリ・オペラ座のバレエダンサーと舞台で共演しており、バレエの美に魅せられたという。

超一流のダンスと音楽が共鳴して極上の響きを見せ、そして聴かせてくれる「Stars in Blue」。バレエ界のレジェンド、ルグリが日本の観客に贈る、世にも美しいパフォーマンスとなることだろう。

文：森菜穂美(舞踊ライター)

3月8日(金)・9日(土) コンサートホール 詳細はP15へ
ダンサー：マニユエル・ルグリ オルガ・スミルノワ セミョーン・チュージン
木本全優
ミュージシャン：三浦文彰(ヴァイオリン) 田村響(ピアノ) 滝澤志野(ピアノ)



©Yuji Hori

©武藤肇

大阪、宮崎、愛知公演あり 特設サイト www.danceconcert.jp

| | | |
|---|--------------------------------|---------|
| ピン・チョン Ping Chong's ドキュメンタリー・シアター Undesirable Elements「生きづらさを抱える人たちの物語」 | | |
| 1月18日(金)～20日(日) シアターイースト | 1月26日(土)・27日(日)大阪・ナレッジシアター公演あり | 詳細はP11へ |



撮影：黒田了平

本人が語り、演じる、さまざまな”障害”

1995年、読売演劇賞作品賞を受賞した『ガイジン～もうひとつの東京物語 - Undesirable Elements』の演出家ピン・チョンによる新作公演。マルチメディア演劇のパイオニア的存在でもあり、2014年にはアメリカで芸術家への最高の栄誉である国家芸術勲章(National Medal of Arts)受賞。1992年より現在まで、60本を超える“Undesirable Elements”シリーズを制作している。今回は、現代の日本社会で様々な「障害」と向き合う人たちにスポットを当て、演出家の阪本洋三とともに創作に取り組み、社会に潜む課題を掘り上げ、伝え、共有する。

作・演出：ピン・チョン(Ping Chong) 企画・共作・共同演出：阪本洋三 プロデューサー：鈴木京子
出演：岩本陽 大橋ひろえ ジュリア・オルソン(Julia Olson) 成田由利子 西村大樹 ハーミー(HARMY)
【お問合せ】日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS『生きづらさを抱える人たちの物語』公演事務局 03-5577-6627

| | | |
|--------------------|----------|---------|
| 芸劇＋トーク 朗読「東京」 第六回 | | |
| 1月24日(木)～27日(日) 予定 | シアターイースト | 詳細はP12へ |



撮影：引地信郎

東京を読み、東京を語る。

2014年にスタートした“東京”をテーマにした、人気リーディング企画、第六弾。東京を描く短編、戯曲、エッセイなど古今の名作に描かれた“東京”を俳優が朗読し、読後のトークで自分にとっての“東京”をそれぞれが語る二部構成でお届けします。
第六回となる今回も、好評を博した前回に引き続き、ドラマプロデューサーとして多くの人気ドラマを制作し、近年では舞台演出も手がける長部聡介を演出に迎えます。一味違う朗読劇による、“東京”の様々な表情をお楽しみください。

演出：長部聡介 トーク聞き手：泉麻人
朗読作品：沢木耕太郎 著「長距離ランナーの遺書」 町田康 著「東京飄然」 川上弘美 著「此处彼処」
※出演者については、HPでご確認ください。

| | | |
|--------------------------|--|---------|
| 芸劇dance Nibroll「悲劇のヒロイン」 | | |
| 2月7日(木)～10日(日) シアターウエスト | | 詳細はP13へ |



宣伝美術：岡本健 + メインビジュアル撮影：橋本拓真

今の私たちにとって、本当の”悲劇”とは？

ダンスカンパニー・ニブロールが、芸劇danceシリーズに初進出！
今回の新作では、現実社会で起こるリアルな悲劇と、不幸な自分に酔い不幸を誇張するフェイクの悲劇、また舞台上のフィクションとしての悲劇という3つの異なる時空から“悲劇”の構造を捉えることで、今この瞬間を生きる私たちにとって本当の“悲劇”とは何か？という問いに迫ります。
新しいダンスのかたちを提示し続けるニブロールの次なる挑戦に乞うご期待。

演出・振付：矢内原美邦
出演：笠木泉 川田希 光瀬指絵 皆戸麻衣 望月めいり 【お問合せ】プリコグ precog 03-6825-1223

| | | |
|--------------------------|--|---------|
| 「世界は一人」 | | |
| 2月24日(日)～3月17日(日) プレイハウス | | 詳細はP14へ |



一人の男のどうしようもない運命を音楽劇で

松尾スズキ、松たか子、瑛太が音楽劇に出演する。それも同級生役で。そんな斬新な舞台『世界は一人』を作・演出するのは岩井秀人だ。綿密な取材をもとに、自身の家族の話も含め、赤裸々な人間の姿を板の上で表現してきた岩井。今度は、やはり取材をもとに、どうしようもない運命を背負った一人の男と、その同級生の人生のねじれと交わりを描く。個人の物語は深めれば深めるほど普遍性を持って響く。音楽という表現が加わることでその世界はより繊細に豊かになるだろう。

文：大内弓子(ライター)

作・演出：岩井秀人 音楽：前野健太 出演：松尾スズキ 松たか子 瑛太 / 平田敦子 菅原永二 平原テツ 古川琴音
演奏：前野健太と世界は一人(Vo,Gt.前野健太 B.種石幸也 Pf.佐山こうた Drs.小宮山純平) 【お問合せ】パルコステージ 03-3477-5858

| | | |
|-----------------------------|--|---------|
| eyes plus 第7回 ブス会*「エーデルワイス」 | | |
| 2月27日(水)～3月10日(日) シアターイースト | | 詳細はP14へ |



写真：宮川舞子

この人にかかれば、女の本音は隠しておけない

原作のないオリジナルの新作は実に3年4ヵ月ぶりとなるブス会*の本公演。前作『お母さんが一緒』と前々作『男たらし』が続けて岸田國士戯曲賞の最終候補作にノミネートされたベヤンヌマキだが、おそらくこの間に英気を養ったはず。主演に鈴木砂羽を迎える新作は「高嶺の花とは、崖っぷちに咲く花。」がキャッチコピー。苦さと笑いのマーブル模様から浮かび上がる女性たちの本音がベヤンヌ流だが、今作はひとりのヒロインに焦点を当てるようだ。

文：徳永京子

作・演出：ベヤンヌマキ
出演：鈴木砂羽 水澤紳吾 大和孔太 高野ゆらこ 土佐和成 後藤剛範 藤井千帆 金子清文
【お問合せ】ブス会* 080-7943-2251

| | | |
|----------------------------|--|--------|
| eyes plus 鳥公園「鳥公園のアタマの中展」2 | | |
| 3月5日(火)～10日(日) アトリエイースト | | 詳細はHPへ |

演劇が生まれる直前の瞬間を拡大して見せる

芸劇eyes、eyes plusでは、アトリエを使った実験的な試みにも射程を広げており、その第1弾が昨年の『鳥公園のアタマの中展』だった。主宰の西尾佳織は、過去の戯曲のリーディング公演を日替わりで、しかもすべて違う演出家に依頼、その稽古を日中に公開し、夜に本番を上演した。大好評を博したこの企画の続編が同じアトリエイーストで決定。劇場では味わえない、生々しくも瑞々しい作品の立ち上げりに、ぜひ立ち会ってほしい。

文：徳永京子

コンセプト：西尾佳織
【お問合せ】合同会社syuz'gen(しゅづげん) 03-4571-0773

| | | |
|---|----------------|---------|
| eyes plus ベッド&メイキングス 第6回公演「こそぎ落としの明け暮れ」 | | |
| 3月15日(金)～27日(水) シアターイースト | 松本、四日市、北九州公演あり | 詳細はP15へ |



ちょっとこじれた舞台上の人たちは、みんな私だ

前回公演『あたらしいエクспロージョン』が第62回岸田國士戯曲賞を受賞し、ようやく実力に評価が追いついてきた福原充則。耳に届いた瞬間は小気味よいケレン味が、よく聞けば詩情が込められたせりふが惜しみなく連射されるその世界は、一度ハマると癖になる。新作は魅力的な8人の女優とひとりの男優による群像劇。善意で動きながらお互いをすり減らす“世の中あるある”を、笑いを交えて描くという福原の筆に期待が募る。

文：徳永京子

作・演出：福原充則
出演：安藤聖 石橋静河 町田マリー 吉本菜穂子 野口かおる 島田桃依 葉丸あすか 佐久間麻由 富岡晃一郎
【お問合せ】サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

| | | | |
|---|---|--|---------------|
| COMING UP NEXT 2019. 4-6 | | | 演劇・ダンス ラインナップ |
| 4月5日(金)～7日(日) プレイハウス 芸劇レパトリー 「リチャード三世」 作：ウィリアム・シェイクスピア 演出：王曉鷹 出演：中国国家話劇院 | 5月9日(木)～12日(日)／5月18日(土)・19日(日) プレイハウス 芸劇dance ローザス 「A Love Supreme — 至上の愛」 振付：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル&サルヴァ・サンチス 音楽：ジョン・コルトレーン | | |
| 5月4日(土・祝)～6日(月・休) コンサートホール、プレイハウス、 アトリウム、劇場前広場 ほか TACT/FESTIVAL 2019 | 「バッハ無伴奏チェロ組曲」 振付：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル 音楽：ヨハン・セバスチャン・バッハ | | |
| 5月～6月 シアターイースト 韓国国立劇団 招聘公演 | | | |



演劇ジャーナリスト 徳永京子の
パリ・レポート
——日本現代演劇をパリの観客はどう見たか。

言葉の壁は薄かった、あるいは、とても低かった

フランス・パリで開催中の一大文化イベント「ジャポニスム2018：響きあう魂」(事務局:国際交流基金)の一環として、日本の現代演劇がまとまって紹介された。東京芸術劇場も共催したプログラムを中心に、現地に足を運んだ演劇ジャーナリスト、徳永京子のレポートをお送りする。

2015年3月、『エッグ』をパリの国立シャイヨー劇場で上演したあとの野田秀樹の感想が印象に残っている。それは「フランスはコンテンポラリーダンスやサーカスが盛んだからか、お客さんがパフォーマーの動きを楽しむこと、フィジカルからストーリーを読み取ることに長けている」というもので、言葉遊びも多く、ストーリーも複雑な『エッグ』が、フランス語字幕の不自由さを乗り越えて、多くの観客に伝わったという確信と喜びに満ちたものだった。

10月と11月の延べ2週間、「ジャポニスム2018」のラインナップを中心に現代演劇を6本観た。「ジャポニスム2018」は、18年7月から19年2月までの長期間、世界にまだ知られていない日本文化の魅力を紹介することをコンセプトに、パリ市内を中心とした様々な施設で、展覧会、舞台公演、映像、生活文化の4ジャンルの作品が展示、上演される大規模なイベント。これまでの海外での日本文化紹介と言うと、演劇は古典が主だったのが、リアルタイムの社会を反映した作品で注目される30代、40代の作り手を中心にプログラムが組まれた点で非常に画期的で、それらがフランスの観客にどう受け入れ



野田秀樹 作・演出「廣作 桜の森の満開の下」 Photo by Nathalie Vu-Dinh

られるか、あるいは拒絶されるかに関心があった。

その関心は、言い換えれば心配でもあったのだが、結果から言うともったくの杞憂で、前述の野田の言葉を追体験することになった。さらに、それが作品と作家を照らし直し、内包していたポテンシャルを目覚めさせたり、新たな可能性を引き出す場面に立ち会うことができた。「言語を超えたコミュニケーション」という常套句があるが、日本語がネックになって世界への発信力が弱いとされがちな現代演劇が、フランスの観客との交感によって言語の壁についての認識を改める機会になったと感じた。

一作ずつ具体的に説明したい。まずNODA・MAPの『廣作 桜の森の満開の下』、『エッグ』同様、約1000人を擁すシャイヨー劇場で上演された。舞台の中央に鎮座する桜の大木、舞台全体を覆う巨大な紙、それを美しく操るアンサンブルの動きなど、オープニングから観客の目を奪う仕掛けが満載ということもあるが、客席全体が前のめりで作品に集中しているのをひしひしと肌で感じた。第一幕が終わった瞬間、熱い拍手が沸き起こったのだが、それはパフォーマーに対して「あなたたちはすごいことをしている」という真っ直ぐなリスペクトだと感じた。笑いもよく起きていたが、たとえば大倉孝二のぼやきに対して間髪入れずに反応があり、音と表情でおもしろさを感じているようだった。字幕は実際の戯曲よりシンプルな内容にしていたと思うが、舞台に集中してもらうためには良い選択だったと思う。

サンプルの『自慢の息子』は、パリの中心からやや離れたジュヌビルエ劇場で、席数190で4ステージだったが、知名度がほとんどなかったにも関わらず前売りが完売という好感度で幕を開けた。同劇場で先に上演された庭劇団ペニノガル・モンド紙に記事が載るなどして勢いがついたこともあるだろうが、フランスの観客の好奇心を頼もしく思った。作・演出の松井周が描くのは、小さなアパートに暮らし、自分を王だと宣言する男性と、彼を誇りに思う



松井周 作・演出「自慢の息子」 ©Yukari Isa 写真提供：国際交流基金

母、彼の部屋にやってきた観光客らが形成する疑似国家の物語。住宅事情や登場人物の職業に日本的なコンテキストが少なからず含まれているにも関わらず、観客の反応はヴィヴィッドで、片桐はいりや伊藤キムのしなやかな身体性、ゴミと宝物のボーダーにあるような美術の力もあって、風変わりな設定をむしろ楽しもうとするオープンな姿勢を感じた。初日を開けて数日後の松井に聞いたところ、「何人もの観客から、ストレンジとストロングという言葉で感想を言われた」と言っており、「大事な部分は伝わったと感じた」と大きな手応えを打ち明けてくれた。

10月の滞在ではこの他、パリで活躍する日本人俳優の竹中香子が出演していた『LOVE ME TENDER』(ブッフ・デュ・ノール劇場)と、国立コリーヌ劇場からSPAC(静岡県舞台芸術センター)の宮城聡が委嘱された『Révélation(顕れ)』を観た。『LOVE ME TENDER』で竹中は、日本人あるいはアジア人と指定されていない役を地に足の着いた落ち着きとしなやかさで演じ、SPACの面々も平常心によるハイクオリティな舞台をつくりあげていた。どちらも「ジャポニスム2018」参加作品ではないが、通常のフランスの文化事業に日本人の活躍がこうして組み込まれているのも大きな意味のあることだろう。

11月の滞在は、SPACの『マハーバーラタ〜ナラ王の冒険〜』をラ・ヴィレットで、藤田貴大上演台本・演出の『書を捨てよ町へ出よう』をパリ日本文化会館で、岩井秀人構成・演出の『フレフレのモロモロ ジュヌビルエ編』をジュヌビルエ劇場で観た。前述の『Révélation(顕れ)』でもわかるように宮城のフランスでの位置付けはすでに高く、『マハーバーラタ』は14年のアヴィニョン演劇祭(フランス)で上演されて大成功を収めている。その時は野外だったが、ラ・ヴィレットはかつて食肉市場を擁した広大な土地が再開発された中にあるイベント会場。古い石畳が敷かれた場所に柱と屋根をつけたような、半屋外、半屋内と形容すべき不思議な場所だった。しかし、客席を360度取り囲む通路を設置するお馴染みのセットとは好相性で、ラストシーン、それまで閉められていた舞台正面の大きな窓が開け放たれると外の景色が作品の世界と混じり合い、この場所ならではの感動が生まれた。1000席近い会場は満



藤田貴大 上演台本・演出「書を捨てよ町へ出よう」 写真提供：パリ日本文化会館



岩井秀人 構成・演出「フレフレのモロモロ ジュヌビルエ編」 ©KOS-CREA 写真提供：国際交流基金

席、儀式性の高い宮城の演出を食い入るように観る人も多く、フランスでこの作品が広く尊敬を集めていることが伝わってきた。

『書を捨てよ〜』は、存命中からフランスで人気の高かった寺山修司の同名映画を藤田が舞台化。寺山が才能を発揮したコラージュの手法を用い、演劇と映像とファッションショー、物語のせりふと現実世界からの言葉を大胆につなげた作品は、理解という点では観客に親切ではないが、客席の集中力は途切れなかった。

『フレフレ〜』は「ジャポニスム2018」の演劇作品中で唯一の日仏共同制作。もともと『フレフレ〜』はハイバイの作・演出家、岩井秀人がワークショップでおこなっていた創作方法で、参加者が実体験を話し、自分で脚本に起こし、それをグループで演じて再現、最終的には岩井が構成して演劇として形を整えるシリーズ。これまで日本各地、あるいは高齢者の演劇集団さいたまゴールド・シアターで上演してきたが、今回それをフランス人とおこなった。共同製作者であるジュヌビルエ劇場の協力で演劇経験のない一般市民をオーディションし、プロの俳優を混ぜた混成チームでつくりあげた作品は、フランスの観客に大きな感動と衝撃を与えたようだ。というのも、ジュヌビルエ劇場のある地区は移民が多く、出演者の多くが、自身が幼い頃、あるいは親の代に別の国から移住してきた人々で、そうした家庭にあった問題が具体的に、けれども淡々としたトーンで描かれているから。日本での『フレフレ〜』はどちらかというと「トラウマになっているような悲惨な出来事」が、演劇にすることで笑えるようになる」だったが、ジュヌビルエ編は「悲惨な出来事が浄化されていく様子」を見つめる体験だった。ここで生まれた波はおそらく、これからあちこちに広まっていくのではないだろうか。

観客の意思表示が明確な分、どの公演も途中で席を立つ人がいたが、届かないものがあるとしたら、それは言語によるものではなく、好みの問題か、事前情報不足による誤解ではないか。日本の現代演劇はもっと世界に出ていい、そう実感した2週間だった。

文：徳永京子



1 JAN ▶

1火曜2水3木4金5土6日7月8火9水10木11金12土13日14月・祝15火16水17木18金19土20日21月22火23水24木25金26土27日28月29火30水31木

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

東京芸術劇場
ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・1日(火・祝)~3日(木)・21日(月)

Concert Hall

4日(金) 18:00開演

BOX

神奈川大学吹奏楽部第54回定期演奏会

出演 小澤俊朗(Cond)／神奈川大学吹奏楽部
曲目 ドビュシー／3つの交響的素描「海」より III.風と海との対話
ショスタコーヴィチ／祝典序曲 ほか
料金 SS:2,500円／S:2,000円／A:1,500円／B:1,000円
問合せ 神奈川大学吹奏楽部 045-481-2989

5日(土) 14:00開演

BOX

植松伸夫×東京交響楽団ニューイヤー・スペシャル
THE UEMATSU WORKS
～ノビヨ、カンレキ!～

出演 竹本泰蔵(Cond)／東京交響楽団／植松伸夫(スペシャルゲスト)
曲目 「ファイナル・ファンタジーVII」メインテーマ
「ファイナル・ファンタジーVI」ティナのテーマ
「ファイナル・ファンタジーIV」ゴルベーザ四天王
「ファイナル・ファンタジーVII」エアリスのテーマ ほか
料金 S:5,000円／A:4,000円
問合せ TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511

6日(日) 14:00開演

BOX

日本フィル第226回サンデーコンサート

出演 大植英次(Cond)／竹澤恭子(Vn)／
日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 外山雄三／管弦楽のためのラプソディ
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲
ブラームス／交響曲第1番
料金 S:7,000円／A:5,500円／B:5,000円／C:4,000円／
Gs(65才以上):4,000円／Ys(25才以下):1,500円
問合せ 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

12日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第213回土曜マチネーシリーズ

出演 山田和樹(Cond)／ホアキン・アチュカロ(Pf)／
読売日本交響楽団
曲目 ラヴェル／高雅で感傷的なワルツ
ピアノ協奏曲
リムスキー＝コルサコフ／交響組曲「シェエラザード」
料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

13日(日) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団
第213回日曜マチネーシリーズ

出演 山田和樹(Cond)／ホアキン・アチュカロ(Pf)／
読売日本交響楽団
曲目 ラヴェル／高雅で感傷的なワルツ
ピアノ協奏曲
リムスキー＝コルサコフ／交響組曲「シェエラザード」
料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

14日(月・祝) Closed・関係者のみ

2019としま「成人の日のつどい」

17日(木) 12:15開演

BOX

ランチタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.130

出演 長田真実(Org)
曲目 ムファット／「アバートゥス・ムジコ・オルガニスティクス」よりトッカータ 第7番
J.S.バッハ／コラール「汝の御前に、我は進まん」 BWV668
シャイト／アルマンド「歩いていても、立ち止まっても」 SSWV137
ヨハンセン／サンライズ
料金 【全席自由】500円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

17日(木) 14:00開講

BOX

パイプオルガン講座2018
第76回 オルガン紀行vol.6～総集編～

講師 小林英之、新山恵理、マチュー・ガルニエ
料金 1,000円(定員60名)
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット
取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)……
・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
・原則未就学児のご入場はお断りしています。
・*は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い。
年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

19日(土) 14:00開演

BOX

東京ニューシティ管弦楽団
第122回定期演奏会

出演 アーネスト・ボツツェル(Cond)／ミー・リョ(Vc)／
東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ドヴォルザーク／チェロ協奏曲
チャイコフスキー／交響曲第4番
料金 S:6,500円／A:5,000円／B:3,500円／C:2,500円
問合せ 事務局チケットデスク 03-5933-3266

20日(日) 14:00開演

BOX

新交響楽団 第244回演奏会

出演 飯守泰次郎(Cond)／二塚直紀／池田香織／佐藤泰弘／
金子美香／友清崇／今尾滋／宮之原良平／小林由樹／
新交響楽団
曲目 ワーグナー／楽劇「トリスタンとイゾルデ」第1幕への前奏曲、
第2幕全曲、第3幕第3場(演奏会形式)
料金 SS:4,000円／S:3,000円／A:2,500円／B:2,000円
問合せ コンサートイマジン 03-3235-3777

26日(土)・27日(日) 14:00開演

BOX

東京芸術劇場シアターオペラvol.12 全国共同制作プロジェクト
モーツァルト 歌劇『ドン・ジョヴァンニ』全幕
(新演出・英語字幕付・日本語上演)

総監督・指揮 井上道義
演出・振付 森山開次
出演 読売日本交響楽団・東響コーラス／
ドン・ジョヴァンニ:ヴィタリ・ユシュマノフ／
レポレッロ:三戸大久／ドンナ・アンナ:高橋絵理／
騎士長:デニス・ビシュニャ／ドンナ・エルヴィーラ:鷲尾麻衣／
ドン・オッターヴィオ:金山京介／
ツェルリーナ:小林沙羅[26日]、藤井玲南[27日]／
マゼット:近藤圭／ダンサー:浅沼圭、碓井菜央、梶田留以、
庄野早芽子、中村里彩、引間文佳、水谷彩乃、南帆乃佳、
山本晴美、脇坂優海香
料金 S:10,000円／A:8,000円／B:6,000円／C:4,000円／
D:3,000円／E:1,500円／SS:12,000円／
高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

28日(月) 19:00開演

陸上自衛隊中央音楽隊第156回定期演奏会

出演 1等陸佐 樋口孝博、2等陸佐 志賀亨(Cond)／
陸上自衛隊中央音楽隊
曲目 軍楽伝習150年「遥かなる吹奏楽」
ワーグナー／タンホイザー序曲
團伊玖磨／祝典行進曲
永井建子／雪の進軍 ほか
料金 【全席指定】無料(要事前応募、抽選)
問合せ 陸上自衛隊中央音楽隊 plans-cband@inet.gsdf.mod.go.jp

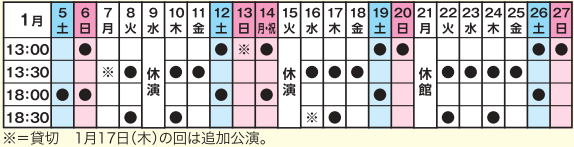
Playhouse

5日(土)~27日(日)

BOX

「ナターシャ・ピエール・アンド・ザ・グレート・コメット・オブ・1812」

音楽・脚本・舞台・オーケストレーション デイブ・マロイ
演出 小林香
原作 レフ・トルストイ(「戦争と平和」より)
出演 井上芳雄／生田絵梨花／霧矢大夢／小西遼生／松原真子／水田航生／はいだしょうこ／メイリー・ムー／原田薫／武田真治 ほか
料金 【全席指定】コメットシートS:16,000円(ドリンク券付)／コメットシートA:14,000円(ドリンク券付)
S:13,000円／A:8,000円
問合せ 帝国劇場内東京芸術劇場公演係 03-3213-7221

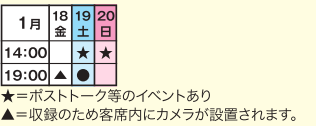


18日(金)~20日(日)

BOX

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS
Ping Chong's ドキュメンタリー・シアター
Undesirable Elements
「生きづらさを抱える人たちの物語」

作・演出 Ping Chong(ピン・チョン) 企画・共作・共同演出 阪本洋三
出演 岩本陽／大橋ひろえ／Julia Olson／成田由利子／西村大樹／HARMY
料金 【全席自由】前売…一般:2,500円／学生:1,500円
当日…一般:3,000円／学生:2,000円
前売当日…高校生以下:500円
問合せ 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 03-5577-6627



24日(木)~27日(日)予定 開演時間はHPへ

BOX

芸劇＋トーク 朗読「東京」第六回

演出 長部聡介 トーク聞き手 泉麻人
作品 沢木耕太郎 著「長距離ランナーの遺書」 町田康 著「東京飄然」 川上弘美 著「此処彼処」
料金 【全席指定】一般:3,000円／65歳以上*:2,500円／25歳以下*:2,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

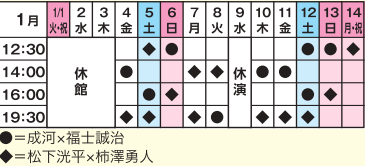
Theatre West

~14日(月・祝)

BOX

MUSICAL「Thrill me スリル・ミー」

原作・音楽・脚本 Stephen Dalgarno 翻訳・訳詞 松田直行
演出 栗山民也
出演 成河×福士誠治／松下洸平×柿澤勇人／朴勝哲(Pf)
料金 【全席指定】8,500円 ※中学生以下入場不可
問合せ ホリプロチケットセンター 03-3490-4949



18日(金)~20日(日)

歌劇「アメデオ、或いは芸術についての
幾つかの考察」

原作・脚本・作曲・指揮・演出 神田慶一
出演 高柳圭／岩田有加／所谷直生／畠中海央／岡元敦司／瀬口杏奈
料金 【全席指定】7,000円
問合せ 国立オペラ・カンパニー 青いサカナ団 03-5340-4288



22日(火) 19:00開演

第31回 リリカル・スウィングジャズ
オーケストラ定期演奏会

料金 【全席自由】1,000円
問合せ リリカル・スウィングジャズオーケストラ 080-6596-2920

25日(金)~27日(日)

「しとやかな獣」

作 新藤兼人 演出 服部九二
出演 広瀬彰勇／寺田有紀美／杉本茜／眞田将司／蓮池龍三／
清水廉／瀬戸由美子／古藤真彦／真家瑠美子
料金 【全席自由】前売:5,000円／当日:5,500円
問合せ オフィスハツガイ 090-2213-0877



29日(火)・30日(水)

BOX

五十田安希ひとり芝居
「女優 松井須磨子」

原作 榎本滋民 脚本・演出 吾妻正
出演 五十田安希
料金 【全席指定】5,400円
問合せ 五十田安希事務所 090-4416-0184



2

FEB

▶

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

金

土

日

火

水

木

金

土

日

月・祝

火

水

木

金

土

日

火

水

木

金

土

日

火

水

木

金

土

日

東京芸術劇場

ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く

10:00～19:00

東京芸術劇場

ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・4日(月)・18日(月)・19日(火)

Concert Hall

1日(金) 17:00開演

東アジア文化都市2019豊島 開幕式典

出演 日本・中国・韓国 各国の芸能団
曲目 『としま未来へ』
「わたしは未来」 ほか
料金 無料(要事前申込)
問合せ 東アジア文化都市2019豊島実行委員会事務局 03-4566-2841

2日(土) 14:00開演

東京都交響楽団 第873回定期演奏会

出演 ニコラス・コロシ(Cond)／キット・アームストロング(Pf)／東京都交響楽団
曲目 ストラヴィンスキー／バレエ組曲《フルチネラ》
ハイドン／ピアノ協奏曲 Hob.XVlll:11
ストラヴィンスキー／バレエ組曲《火の鳥》(1945年版)
料金 S:6,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:3,500円／Ex:2,500円
問合せ 都響ガイド 0570-056-057

3日(日) 14:00開演・18:00開演

東京ニューシティ管弦楽団 第2回ポップス定期演奏会
「この素晴らしい世界に祝福を!」コンサート
～この素晴らしい音楽に喝采を!～

出演 甲田雅人(Cond)／福島潤、雨宮天、高橋李依、茅野愛衣、Machico(Vo)／東京ニューシティ管弦楽団
曲目 Fantastic Dreamer
小さな冒険者
料金 【全席指定】8,800円
問合せ ディスクガレージ 050-5533-0888

5日(火) 19:00開演

2019都民芸術フェスティバル参加公演
オーケストラ・シリーズNo.50
東京フィルハーモニー交響楽団

出演 角田銅亮(Cond)／神尾真由子(Vn)／東京フィルハーモニー交響楽団
曲目 ニコライ／歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」(序曲)
ブルッフ／スコットランド幻想曲
ベートーヴェン／交響曲第7番
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／学生A:3,000円／学生B:2,000円／学生C:1,000円
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

Playhouse

1日(金)～17日(日)

舞台「プラトーフ」

作 アントン・チェーホフ 脚戯 目黒孝 演出 森新太郎
出演 藤原竜也／高岡早紀／比嘉愛未／前田亜季／中別府葵 ほか
料金 【全席指定】S:9,800円／サイドシート:7,000円
問合せ ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

| 2月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-----|----|----|----|----|----|----|
| | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月・祝 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 12:30 | | | ● | | | | | | | ● | ● | | | | | | ● |
| 13:30 | | | | | 休 | ● | ● | ● | | | | | | ● | ● | | |
| 17:30 | | ● | | | | | | | ● | | | | | | | | ● |
| 18:30 | ● | | | | | | ● | | | | | | | ● | | | |

| 2月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-----|----|----|----|----|----|----|
| | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月・祝 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 14:00 | | ● | | | ● | | | ● | ● | | ● | ● | | | ○ | |
| 17:00 | ● | | | | | | | | | 休 | | | ● | ● | | |
| 19:00 | | | | ● | | ● | ● | | | | ● | ● | ★ | | | 休 |

○＝視覚障害者のための「舞台説明会・音声ガイド」実施
◎＝聴覚障害者のための「ボータブル字幕機提供」実施
★＝終演後アフタートークあり(若村麻由美、壮一帆 ほか)

Theatre East

2日(土)～24日(日)

東京芸術劇場 兵庫県立芸術文化センター共同製作
「Le Père 父」

作 フロリアン・ゼレール 演出 ラディスラス・ショラー
出演 橋爪功／若村麻由美／壮一帆／太田緑ロランス／吉見一豊／今井朋彦
料金 【全席指定】一般:7,000円／65歳以上*:6,000円／25歳以下*:3,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

| 2月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月・祝 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 14:00 | | ● | | | | ● | | | ● | ● | | ● | | | | ○ | | | | ● | ● | ● | ● |
| 17:00 | ● | | | | | | | | | | 休 | | | | | | 休 | 休 | | ● | ● | ● | ● |
| 19:00 | | | | ● | | ● | ● | | | | ● | ● | ★ | | | | 休 | 休 | | ● | ● | ● | ● |

Theatre West

1日(金)～3日(日)

とうきょうの真ん中で“地方暮らし・子育て”を考える～とっとりの場合～
じゅう劇場「『ロミオとジュリエット』から生れたもの-2018」

構成・演出 中島諒人／齊藤頼陽
出演 鳥の劇場俳優及びじゅう劇場俳優 ほか
料金 【全席自由】入場無料(要事前予約)
問合せ 鳥の劇場 0857-30-6303

| 2月 | 1 | 2 | 3 |
|-------|---|---|---|
| | 金 | 土 | 日 |
| 12:10 | | | ● |
| 13:00 | | ● | |
| 19:00 | ● | | |

7日(木)～10日(日)

芸術dance
Nibroll「悲劇のヒロイン」

演出・振付 矢内原美邦 映像・美術 高橋啓祐 音楽 SKANK／スカンク
出演 笠木泉／川田希／光瀬指絵／皆戸麻衣／望月めいり
料金 【全席指定(購入時座席ブロック指定)】
前売…一般:3,500円／25歳以下:2,500円
当日…一般:3,800円／25歳以下:2,800円
問合せ precog 03-6825-1223

| 2月 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-------|---|---|---|----|
| | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 19:30 | ● | ● | ● | ● |

11日(月・祝) 13:30開演

2019都民芸術フェスティバル参加公演
第49回 都民寄席 浪曲の会

出演 天中軒雲助／澤孝子 ほか
料金 【全席自由】入場無料(要事前申込)
問合せ 都民寄席実行委員会 03-3833-8563

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)・・・
・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
・原則未就学児のご入場はお断りしています。
・＊は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い。
年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

14日(木) 19:30開演

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.25

出演 ダニエル・ザレツキー (Org)
曲目 オルガン・ヴィルトゥオゾ〜ババル、フランスとロシアの大聖堂の音楽
J.S.バッハ／ファンタジア「来たれ、聖霊、主なる神よ」 BWV651
コラール「おお愛する魂よ、汝を飾れ」 BWV654
コラール「われらみな唯一の神を信ず」 BWV680
ヴィエルヌ／『24の幻想的小品集組曲第3集 Op.54』より
第6曲「ウエストミンスターの鐘」
ジゲー／『オルガンのための10の小品』より「メヌエット」、「トッカータ」
ヴィエルヌ／「オルガン交響曲 第1番 Op.14」より
第5楽章 アンダンテ、第6楽章 フィナーレ
デュボア／トッカータ長調
ムッセル／トッカータ 八長調
クシュナレフ／パッサカリヤ 嬰へ短調
料金 【全席指定】1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

16日(土) 14:00開演

東京佼成ウインドオーケストラ
第142回定期演奏会

出演 大植英次(Cond)／東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 ワーグナー／楽劇「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」第1幕への前奏曲
リード／パンチネロ〜コンサート・バンドのためのロマンティック・コメディへの序曲
R.シュトラウス／アルプス交響曲
料金 S:6,000円／A:4,500円／B:3,500円／C:1,500円／U25割引:2,000円
問合せ 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

17日(日) 14:00開演

フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団
第65回演奏会

出演 下野竜也(Cond)／和波孝禧(Vn)／
フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団
曲目 ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」
ブラームス／ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルザーク／交響曲第6番
料金 S:3,000円／A:2,500円
問合せ PEO事務局 03-3565-6383

24日(日)～3月17日(日)

「世界は一人」

作・演出 岩井秀人 音楽 前野健太
出演 松尾スズキ 松たか子 瑛太／
平田敦子 菅原永二 平原テツ 古川琴音
演出 前野健太と世界は一人【前野健太(Vo,Gt) 稲石幸也(B) 佐山こうた(Pf) 小宮山純平(Drs)】
料金 【全席指定】S:8,500円／A:7,500円／U-25チケット(観劇時25歳以上):6,000円(当日指定席引換、前売のみ)／高校生以下チケット*:1,000円
問合せ バルコステージ 03-3477-5858

略語表
アルト(A)／ベース(B)／バリトン(Br)／バス(Bs)／コントラバス(Cb)／チェンバロ(Cemb)／合唱(Chor)／クラリネット(Cl)／指揮者(Cond)／ドラム(Drs)／ユーフォニアム(Euph)／ファゴット(Fg)／フルート(F)／ギター(Gt)／ハープ(Hp)／ホルン(Hr)／メゾソプラノ(Ms)／オーボエ(Ob)／パイプオルガン(Org)／パーカッション(Per)／ピアノ(Pf)／ソプラノ(S)／サクソフォン(Sax)／テノール(T)／トロンボーン(Tb)／ティンパニ(Timp)／トランペット(Tp)／チューバ(Tub)／ヴィオラ(Va)／チェロ(Vc)／ヴァイオリン(Vn)／ヴォーカル(Vo)

20日(水) 14:00開演

2019都民芸術フェスティバル参加公演
オーケストラ・シリーズNo.50
新日本フィルハーモニー交響楽団

出演 原田慶太楼(Cond)／伊藤恵(Pf)／
新日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 ワーグナー／楽劇「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」
～第1幕への前奏曲
リスト／ピアノ協奏曲第1番
ラフマニノフ／交響曲第2番
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／
学生A:3,000円／学生B:2,000円／学生C:1,000円
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

21日(木) Closed・関係者のみ

第32回中学合唱コンクール

22日(金) 14:00開演

大和証券グループ presents
辻井伸行 日本ツアー
《ドビュッシー・ラヴェル・ショパン》

出演 辻井伸行(Pf)
曲目 ドビュッシー／2つのアラベスク
映像 第1集(水に映る影 / ラモーをたたえて / 動き)
ラヴェル／ソナチネ
ショパン／スケルツォ第1番 口短調、スケルツォ第2番 変口短調
スケルツォ第3番 嬰ハ短調、スケルツォ第4番 ホ長調
料金 S:7,000円／A:6,000円／B:5,000円
問合せ チケットスペース 03-3234-9999

23日(土) 15:00開演・24日(日) 14:00開演

アマデウスLIVE
シネマティック・コンサート

出演 辻博之(Cond)／オーケストラ・アンサンブル金沢／
アマデウス特別合唱団
曲目 映画『アマデウス』(劇場公開版)※英語上映・日本語字幕
料金 S:12,000円／A:10,000円／B:8,000円
問合せ チケットスペース 03-3234-9999

25日(月) 19:00開演

インターカレッジ女声合唱団
Voces Fidelis 第10回記念定期演奏会

出演 松下耕、梶山絵美(Cond)／
インターカレッジ女声合唱団Voces Fidelis
曲目 松下耕／新作委嘱初演
松下耕(谷川俊太郎 作詞)／
女声合唱とピアノのための「すこやかに おだやかに しなやかに」 ほか
料金 S:2,500円／A:2,000円／高校生以下(A席):1,500円
当日:500円増
問合せ インターカレッジ女声合唱団Voces Fidelis 080-4164-3120

27日(水) 19:00開演

2019都民芸術フェスティバル参加公演
オーケストラ・シリーズNo.50
読売日本交響楽団

出演 カーチュン・ウォン(Cond)／小山実稚恵(Pf)／
読売日本交響楽団
曲目 バーバー／弦楽のためのアダージェョ
モーツァルト／ピアノ協奏曲第20番
ブラームス／交響曲第4番
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／
学生A:3,000円／学生B:2,000円／学生C:1,000円
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

| 2月 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 3月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 13:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17:00 | ● | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19:00 | | | ● | ● | ● | | | | | | ● | ● | ● | ● | ● | | | | ● | ● | ● | ● |

▲＝収録のため、客席内にカメラが設置されます。2月27日、3月6日19:00の回は追加公演。
佐山こうた(Pf) 小宮山純平(Drs)】

27日(水)～3月10日(日)

eyes plus
第7回 ブス会＊ 「エーデルワイス」

作・演出 ベヤンヌマキ 音楽 鈴木砂羽／水澤紳吾／大和孔太／高野ゆらこ／土佐和成／後藤剛範／藤井千帆／金子清文
料金 【全席指定】前売…ブスシート(最前列・ポスター付):4,500円／一般シート:4,500円
当日…ブスシート(最前列・ポスター付):4,800円／一般シート:4,800円
前売当日…高校生以下:1,000円
問合せ ブス会＊ 080-7943-2251

▲＝収録のため、客席内にカメラが設置されます。
★＝アフタートークあり

| 2月 | 27 | 28 | 3月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-------|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 14:00 | | | | | ● | | | | ▲ | | ● | ● |
| 18:00 | | | | | ★ | | | | | | ● | ● |
| 19:00 | ● | ★ | | | | ● | | | ▲ | ● | ● | ● |

27日(水)～3月10日(日)

劇団スタジオリフ公演
萩尾望都原作「なのはな」

脚本演出 倉田淳
出演 松本慎也／関戸博一／宇佐見輝
千葉健致／船戸慎士／仲原裕之
倉本徹／若林健吾 ほか
料金 【全席指定】一般:5,800円／学生:3,000円／高校生以下:1,500円
問合せ 劇団スタジオリフ 03-5942-5067

| 2月 | 27 | 28 | 3月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-------|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 12:30 | | | | | | | | | | | | ● |
| 13:00 | | | | | ● | | | | | | | ● |
| 15:00 | | | | | | | | | | ● | | |
| 16:00 | | | | | | | | | | | | |
| 17:00 | | | | | ● | | | | | | ● | |
| 19:00 | ● | ● | ● | | | | | | ● | ● | ● | ● |

3

MAR▶

12345678910111213141516171819202122232425262728293031

金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

【休館日を除く
10:00～19:00】

東京芸術劇場
ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・11日(月)

Concert Hall

1日(金) 19:00開演

BOX

芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー
第5回演奏会

出演 下野竜也(Cond)／木下美穂子(S)／
芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー／東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 兼田敏／ウインドオーケストラのためのファイヴイメージズ
前田守／マリンスノウ
酒井健治／委嘱作品「ハルネームジークプロジェクト第1弾」(世界初演)
長生淳／I still have a dream
キャンパハス／アイヴィーグリーンからの交響曲(交響曲第3番)
料金 【全席指定】一般:2,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

2日(土) 17:00開演

BOX

プラス・エクシード・トウキョウ 第20回記念コンサート
『THE ULTIMATE MOVIES ～vol.2～』

出演 大滝実、津堅直弘(Cond)／安田結衣子(Pf)／
プラス・エクシード・トウキョウ
曲目 H.Shore／ロードオブザリングより
J.Williams／スターウォーストリロジーより
J.Barry,D.Arnold／007メドレー ほか
料金 S:5,000円／A:3,500円／B:2,500円／C:1,500円
問合せ プラスエクシードトウキョウ事務局 03-6320-1383

3日(日) 14:00開演

BOX

オーケストラ・ダスビダーニャ 第26回定期演奏会

出演 長田雅人(Cond)／オーケストラ・ダスビダーニャ、
オーケストラと歌うロシア合唱団、東京トリニティコール
曲目 ショスタコーヴィチ／三部作映画《マクシム》の音楽より
交響曲第2番《十月革命に捧ぐ》
交響曲第6番
料金 【全席指定】2,000円
問合せ オーケストラ・ダスビダーニャ事務局 info@dasubi.org

4日(月) 18:30開演

The 13th WORLD PEACE CLASSIC CONCERT
神に愛されしモーツァルト降臨
～格調高雅なる協奏曲&魅惑のオペラ・プッファの祭典～

出演 新田孝、澤村杏太郎(Cond)／春日井恵(Vn)／相原千興(Va)／
田中あかね、ドゥオール(Pf)／愛もも湖、木村末希(S)／
吉田貞美(Ms)／根本俊介(T)／山田大智(B.Br)／小野隆伸(Br)
東京ニューシティ室内管弦楽団
曲目 モーツァルト／ディヴェルティメントニ長調より
ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲
2台のピアノのための協奏曲
ピアノ協奏曲第23番
オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」ハイライト
料金 SS:8,000円／S:7,000円／A:6,000円
問合せ NIPPON SYMPHONY 090-6927-3447

6日(水) 19:00開演

BOX

2019都民芸術フェスティバル参加公演
オーケストラ・シリーズNo.50
東京都交響楽団

出演 梅田俊明(Cond)／大谷康子(Vn)／東京都交響楽団
曲目 ロッシーニ／歌劇「セヴィリアの理髪師」〈序曲〉
サン＝サーンス／ヴァイオリン協奏曲第3番
ブラームス／交響曲第2番
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／
学生A:3,000円／学生B:2,000円／学生C:1,000円
問合せ 日本演奏連盟 03-3539-5131

8日(金) 19:00開演・9日(土) 14:00開演

BOX

マニエル・ルグリ「スターズ・イン・ブルー」
バレエ&ミュージック

出演 マニエル・ルグリ、オルガ・スミルノワ、セミョン・チュージン、
木本全優(ダンサー)／三浦文彰(Vn)／田村響、滝澤志野(Pf)
料金 SS:13,000円／S:11,000円／A:8,000円／
B:6,000円／C:4,000円／D:3,000円／
25歳以下*:2,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

10日(日) 14:00開演

BOX

豊島区管弦楽団第88回定期演奏会

出演 和田一樹(Cond)／豊島区管弦楽団
曲目 J.S.バッハ(エルガー編曲)／幻想曲とフーガ
マニャール／葬送の歌
ブルックナー／交響曲第8番(ハース版)
料金 【全席指定】800円
問合せ 豊島区管弦楽団事務局 090-6535-8643

12日(火) Closed・関係者のみ

板橋区立中学校オーケストラ鑑賞教室

14日(木) 12:15開演

BOX

ランチタイム・パイプオルガンコンサート Vol.131

出演 石丸由佳(Org)
料金 【全席自由】500円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

15日(金) 19:00開演

BOX

2019都民芸術フェスティバル参加公演
オーケストラ・シリーズNo.50
東京交響楽団

出演 川瀬賢太郎(Cond)／仲道都代(Pf)／東京交響楽団
曲目 ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第4番
リムスキー＝コルサコフ／交響組曲「シェラザード」
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／
学生A:3,000円／学生B:2,000円／学生C:1,000円
日本演奏連盟 03-3539-5131

16日(土) 14:00開演

BOX

東京ニューシティ管弦楽団 第123回定期演奏会

出演 内藤彰(Cond)／チェン・ジョウ(Vn)／東京ニューシティ管弦楽団
曲目 シベリウス／ヴァイオリン協奏曲
ブルックナー／交響曲第6番(川崎高伸校訂版)
料金 S:6,500円／A:5,000円／B:3,500円／C:2,500円
問合せ 事務局チケットデスク 03-5933-3266

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット
取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)……
・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
・原則未就学児のご入場はお断りしています。
・*は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い。
年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

17日(日) 14:00開演

BOX

ザ・シンフォニカ第65回定期演奏会

出演 海老原光(Cond)／ザ・シンフォニカ
曲目 チャイコフスキー／幻想序曲「ロミオとジュリエット」
リムスキー＝コルサコフ／スペイン奇想曲
ラフマニノフ／交響曲第3番
料金 【全席指定】2,500円
問合せ ザ・シンフォニカ事務局 050-5898-1760

19日(火) 19:00開演

BOX

2019都民芸術フェスティバル参加公演
オーケストラ・シリーズNo.50
日本フィルハーモニー交響楽団

出演 柴田真都(Cond)／宮田大(Vc)／日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」〈序曲〉
エルガー／チェロ協奏曲
ベートーヴェン／交響曲第6番「田園」
料金 A:3,800円／B:2,800円／C:1,800円／学生A:3,000円／学生B:2,000円／学生C:1,000円
日本演奏連盟 03-3539-5131

20日(水) 18:30開演

慶應義塾高等学校・女子高等学校
ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ 第59回定期演奏会

出演 武内裕太郎(Cond)／慶應義塾高等学校・女子高等学校
ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
曲目 シューベルト／「ロザムンデ」序曲
チャイコフスキー／幻想序曲「ロメオとジュリエット」
グラズノフ／交響曲第5番
料金 S:700円／A:500円／高校生以下:無料
問合せ 慶應義塾高等学校・女子高等学校 ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
wagner20190320@gmail.com

21日(木・祝) 14:00開演

BOX

プラチナ★シンガーズ第三回演奏会

出演 青木洋也(Cond)／高橋ちはる(Ms)／加来敬(Br)／東京フィルハーモニー交響楽団
曲目 高田三郎／水のいのち
デュリュフレ／レクイエム
料金 S:4,000円／A:3,000円／B:2,000円
問合せ プラチナ★シンガーズ事務局 03-3367-2451

23日(土) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団 第215回土曜マチネー・シリーズ

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)／
ビエール＝ロラン・エマール(Pf)／読売日本交響楽団
ベルリオーズ／歌劇「ペートルリスとベネディクト」序曲
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第3番
ベルリオーズ／幻想交響曲
料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

24日(日) 14:00開演

BOX

読売日本交響楽団 第215回日曜マチネー・シリーズ

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)／
ビエール＝ロラン・エマール(Pf)／読売日本交響楽団
ベルリオーズ／歌劇「ペートルリスとベネディクト」序曲
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第3番
ベルリオーズ／幻想交響曲
料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

25日(月) 18:30開演

立教池袋中学校・高等学校 吹奏楽部
第21回定期演奏会

出演 西澤宏佳(Cond)／立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部
曲目 バーンスタイン／キャンディード序曲
N.ヘス／イーストコーストの風景
S.ブラ／LEGENDS OF JAZZ ほか
料金 【全席指定】無料
問合せ 立教池袋中学校・高等学校 吹奏楽部 rikkyo.wo@live.jp

27日(水) ①11:30開演／②13:30開演

BOX

芸劇&読響
0才から聴こう!!／4才から聴こう!!
春休みオーケストラコンサート

出演 鈴木優人(Cond)／読売日本交響楽団／三村梨紗(Tp) ほか
曲目 ビゼー／歌劇『カルメン』前奏曲
J.S.バッハ(スクロヴァチェフスキ編)／『トッカータとフーガ』から
トッカータ ほか
料金 S:3,500円／A:2,500円／
子ども(3才以上小学生まで):1,000円(S・A共通)
①…0才から入場可。保護者の膝上での鑑賞の場合、2才まで無料(ただし、
保護者1名につき子ども1名まで)。座席を必要とする場合はすべて有料。
②…4才から入場可(3才以下の入場不可・全席有料)。
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

30日(土) 15:00開演

BOX

東京芸術劇場&ミュージアザ川崎シンフォニーホール共同企画
第8回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

出演 小林研一郎(Cond)／
管弦楽:音楽大学フェスティバル・オーケストラ
[首都圏9音楽大学+北海道&沖縄2音楽大学
選抜オーケストラ]
(上野学園大学／国立音楽大学／昭和音楽大学／
洗足学園音楽大学／東京音楽大学／東京藝術大学／
東邦音楽大学／桐朋学園大学／武蔵野音楽大学／
札幌大谷大学／沖縄県立芸術大学)
曲目 ベルリオーズ／序曲『ローマの謝肉祭』
チャイコフスキー／序曲『1812年』
ベルリオーズ／幻想交響曲
料金 S:2,000円／A:1,500円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

31日(日) 14:00開演

BOX

東京都交響楽団 第875回定期演奏会

出演 エリアフ・インバル(Cond)／サリーム・アシュカール(Pf)／
東京都交響楽団
曲目 ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第1番
チャイコフスキー／交響曲第5番
料金 S:7,500円／A:6,500円／B:5,500円／C:4,500円／Ex:3,500円
問合せ 都響ガイド 0570-056-057

Playhouse

～17日(日)

BOX

「世界は一人」

公演情報はP.14参照

3月1234567891011121314151617

金土日月火水木金土日月火水木金土日月

13:00

14:00

17:00

18:00

19:00

▲収録のため、客席内にカメラが設置されます。
3月6日19:00の回は追加公演。

19日(火)・20日(水) 19:00開演

BOX

2019都民芸術フェスティバル参加公演
現代舞踊公演
「1200seconds ～踊～Triple Bill」

作 木原浩太／平富恵／飯塚真穂
料金 【全席指定】4,000円
問合せ 現代舞踊協会 03-5457-7731

21日(木・祝) 18:00開演

BOX

舞踊への招待「目白三人の会」
～3つのダンスの世界～

出演 花柳千代舞踊団／美二三枝子舞踊団／
小林紀子バレエ・シアター
料金 【全席指定】一般:2,500円／
友の会:2,000円／学生:1,000円／
4歳～小学生:500円
問合せ としま未来文化財団 03-3590-7118

22日(金) 12:30開演

としま区民芸術祭
華麗なる彩り

出演 としま区日本舞踊家集団
料金 【全席自由】一般:3,000円／友の会:2,500円／
アフターシックス券:1,000円(当日のみ、18時以降)
問合せ としま未来文化財団 03-3590-7118

23日(土)・24日(日) 13:00開演

2019都民芸術フェスティバル参加公演
第50回東京都民俗芸能大会
-人と神と動物たち-

出演 都内の民俗芸能伝承団体(各日7団体程度)
料金 【全席指定】入場無料(事前申込)
問合せ 東京都民俗芸能大会係(SAP) 03-6912-0945

30日(土)・31日(日) 14:00開演

BOX

2019都民芸術フェスティバル参加公演
スターダンサーズ・バレエ団 Dance Speaks

「緑のテーブル」
台本・演出 クルト・ヨース 監修 ハイネ・ヘックロス 音楽 フリッツ・A.コーヘン
「ウェスタン・シンフォニー」
振付 ジョージ・バランシン 音楽 ハーシー・ケイ
出演 渡辺恭子 池田武志ほかスターダンサーズ・バレエ団
料金 【全席指定】S:8,000円／A:5,000円／学生:2,000円
問合せ スターダンサーズ・バレエ団 03-3401-2293

Theatre East

～10日(日)

BOX

eyes plus
第7回 ブス会*
「エーデルワイス」

公演情報はP.14参照

3月12345678910

金土日月火水木金土日月

14:00

18:00

19:00

▲=収録のため、客席内にカメラが設置されます。
★=アフタートークあり

15日(金)～27日(水)

BOX

eyes plus
ベッド&メイキングス 第6回公演「こそぞ落としの明け暮れ」

作・演出 福原充則
出演 安藤聖／石橋静河／町田マリー／吉本菜穂子／野口かおる／島田桃依／葉丸あすか／佐久間麻由／富岡晃一郎
料金 前売:5,500円／当日:5,800円／U-29チケット(29歳以下):3,500円／高校生以下:1,000円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

3月15161718192021222324252627

金土日月火水木金土日月火水木金土日月火

13:00

14:00

18:00

19:00

未=未公開版
オ=オリジナル版

Theatre West

～10日(日)

BOX

劇団スタジオライフ公演
萩尾望都原作「なのはな」

公演情報はP.14参照

3月12345678910

金土日月火水木金土日月

12:30

13:00

15:00

16:00

17:00

19:00

14日(木)～21日(木・祝)

「毛皮のマリー」(オリジナルver./未公開ver.)

作 寺山修司 演出 寺山偏陸
出演 のぐち和美／安川純平／砂原健佑 ほか
オリジナルver.:加納幸和／日出郎／小林桂太
未公開ver.:中村中／松ノ木天辺
料金 【全席指定】一般:5,500円／シニア:4,500円／U22:3,500円／平日マチネ割:500円引／
両バージョン通し券…一般:10,000円／U22:6,000円
問合せ 青蛾館 080-1614-6114

3月1415161718192021

金土日月火水木金土日月火水木

12:30

14:00

15:30

19:00

オ=オリジナル版

22日(金) 19:00開演

林家たけ平 独演会

料金 【全席指定】3,000円
問合せ 夢空間 03-5785-0380

23日(土)・24日(日)

「伝言」飛天プロジェクト
震災復興舞踊公演

作・演出 石黒節子 監理 石黒猛
出演 水島晃太郎／三輪亜希子／古家優里／糴谷節子 ほか
料金 【全席自由】一般:4,000円／学生:2,000円
当日:500円増
問合せ イシグロダンスシアター 090-1053-3764

27日(水)～31日(日)

キ上の空論#10「ひびのばら」

作・演出 中島庸介
出演 小島梨里杏／多田愛佳／山崎彬 ほか
料金 【全席指定】前売:5,500円／当日:6,000円
問合せ オフィス上の空 090-9950-6200

3月2728293031

水木金土日

13:00

14:00

18:00

19:00

1・2・3
JAN FEB MAR東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00)

Gallery 1 (5F)

1

4日(金)～9日(水)

無料

第68回書道學會展(第二会場)

問合せ 石橋 03-3234-3956

10日(木)～13日(日)

無料

静書会書道展

問合せ 高橋 03-3358-4786

14日(月・祝)～20日(日)

無料

蓉花会新春書展

問合せ 井上 090-5204-0787

23日(水)～28日(月)

無料

Gallery 1・2同時開催
東京都特別支援学校
第27回総合文化祭 5部門作品展

問合せ 東京都教育庁指導部
特別支援教育指導課 03-5321-1111

2

1日(金)～3日(日)

無料

東アジア文化都市2019豊島オープンニング展示
オールとしま・ウエルカム・東アジア

問合せ 東アジア文化都市2019
豊島実行委員会 03-4566-2841

6日(水)～10日(日)

無料

Gallery 1・2同時開催
大東文化大学書道部 校外展

問合せ 大東文化大学書道部
千田 070-5306-5525

13日(水)～17日(日)

無料

東京学芸大学教育学部
中等教育教員養成課程書道専攻 卒業記念展

問合せ 中村 080-2223-0239

21日(木)～24日(日)

無料

Gallery 1・2同時開催
尚美学園大学卒業制作展

問合せ 尚美学園大学 卒業2019実行委員会
049-246-2700

26日(火)～3月3日(日)

無料

第12回日本書道学院代表作家展

問合せ 日本書道学院 0120-127-927

3

5日(火)～7日(木)

無料

Gallery 1・2同時開催
ヴォーグキルト塾
小関鈴子クラス合同作品展

問合せ ヴォーグキルト塾
03-3383-0613

8日(金)～10日(日)

無料

第36回
日本芸術協会美術展

問合せ 早川 0463-32-1029

13日(水)～16日(土)

無料

村上勇子と仲間たち

問合せ 村上 04-2959-2877

17日(日)～21日(木・祝)

無料

第32回
全国シルバー・わかば書道展

問合せ 美術新聞社 03-3462-5251

23日(土)・24日(日)

有料

Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催
第4回 池袋鉄道模型芸術祭

料金 500円(全施設共通・保護者同伴の
小学生以下は無料)
問合せ 日本鉄道模型の会 03-6914-3581

26日(火)～31日(日)

無料

Gallery 1・2 Atelier West同時開催
JATDT60周年記念
日本舞台美術家協会展2019

問合せ 秋山 090-1730-4751

Gallery 2 (5F)

1

11日(金)～16日(水)
キャンノンフォトクラブ東京JOY写真展
「Opposite」[その相反する世界から]

18日(金)～20日(日)
書旅の會 臨書展

23日(水)～28日(月)
Gallery 1・2同時開催
東京都特別支援学校
第27回総合文化祭 5部門作品展

29日(火)～2月3日(日)
第38回
国際書道連盟日本部会役員展

料金 無料

料金 無料

料金 無料

料金 無料

問合せ 大野 090-5395-8472

問合せ 海老原 080-4179-9615

問合せ 東京都教育庁指導部
特別支援教育指導課 03-5321-1111

問合せ 翠尾 03-3754-2330

2

6日(水)～10日(日)
Gallery 1・2同時開催
大東文化大学書道部 校外展

13日(水)～17日(日)
極美 東京展

21日(木)～24日(日)
Gallery 1・2同時開催
尚美学園大学卒業制作展

料金 無料

料金 無料

料金 無料

問合せ 大東文化大学書道部
千田 070-5306-5525

問合せ 小泉 0466-44-1255

問合せ 尚美学園大学 卒業2019実行委員会
049-246-2700

3

2日(土)・3日(日)
錦花池坊創流85周年
「いけばな錦花展-2019-」

5日(火)～7日(木)
Gallery 1・2同時開催
ヴォーグキルト塾
小関鈴子クラス合同作品展

8日(金)～10日(日)
第5回 若獅子書展

13日(水)～17日(日)
TOKYO職人展

23日(土)・24日(日)
Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催
第4回 池袋鉄道模型芸術祭

26日(火)～31日(日)
Gallery 1・2 Atelier West同時開催
JATDT60周年記念
日本舞台美術家協会展2019

料金 無料

料金 無料

料金 無料

料金 無料

料金 有料

料金 有料

問合せ 加藤 090-8492-9853

問合せ ヴォーグキルト塾
03-3383-0613

問合せ 若獅子会
080-6448-6303

問合せ 東京都中小企業振興公社
03-5680-4631

料金 500円(全施設共通・保護者同伴の
小学生以下は無料)
問合せ 日本鉄道模型の会 03-6914-3581

料金 ワークショップ: 有料
問合せ 秋山 090-1730-4751

Atelier East (B1F)

1

12(土)～14(月・祝)

無料

The passage of stage
舞台の経過

問合せ 武田(演劇舞踊デザイン研究室)
03-3702-1186

19(土)～2月2日(土)

無料

Atelier East-West同時開催
移動する港Ⅲ
アイム グラッド ユーアー ゼア

問合せ 東京都現代美術館 文化共生課
03-5633-5087

2

6日(水)～9日(土)

無料

第25回
創作者集団アートピックス展

問合せ 鈴木 03-3805-5111

10日(日)～13日(水)

無料

Atelier East-West同時開催
アメリカンパッチワーク
佐藤尚子とキルトスプールの仲間展

問合せ 佐藤 049-222-2149

14日(木)～17日(日)

無料

桐美展

問合せ 荻野 080-4130-0502

20日(水)～24日(日)

無料

日本美術会 第1回版画展

問合せ 十滝 04-2998-7625
080-4163-5024

26日(火)～3月3日(日)

一部有料

あなたのくつをはく

料金 パフォーマンス:一般2,500円 ほか
展示:無料
問合せ 中島 080-2214-0822

| | | | | | |
|---|--|---|---|--|---|
| 3 | 5日(火)～10日(日) eyes plus 鳥公園 [鳥公園のアタマの中展]2 問合せ 鳥公園(制作:合同会社syuz'gen (しゅつげん)) 03-4571-0773 | 12日(火)～16日(土) 青山学院大学美術部 卒展2019 問合せ 常法寺 080-3355-9341 | 17日(日)～21日(木・祝) 第15回 アートるるるの会作品展 問合せ 鈴木 048-478-7735 | 23日(土)・24日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 第4回 池袋鉄道模型芸術祭 料金 500円(全施設共通・保護者同伴の 小学生以下は無料) 問合せ 日本鉄道模型の会 03-6914-3581 | 25日(月)～31日(日) 第10回 保谷フォトクラブ写真展 問合せ 伊東カメラ店 03-5387-1041 |
|---|--|---|---|--|---|

Atelier West (B1F)

| | | | | | |
|---|--|---|--|--|--|
| 1 | 8日(火)～14日(月・祝) 東京朝鮮中高級学校 美術部展 問合せ 崔 090-2940-9491 | 19日(土)～2月2日(土) Atelier East-West同時開催 移動する港Ⅲ アイム グラッド ユーアー ゼア 問合せ 東京都現代美術館 文化共生課 03-5633-5087 | 14日(木)～17日(日) 片岡みい子の世界 問合せ 鈴木 090-8175-4711 | 20日(水)～24日(日) 日本革工芸会 交流展 問合せ 糸井 080-3272-7480 | 26日(火)～3月2日(土) 武蔵野学芸専門学校 卒業展 進級展 問合せ 武蔵野学芸専門学校 0422-50-1177 |
| 2 | 5日(火)～9日(土) 東京地下鉄親交会写真部展 [My写真館14] 問合せ 内村 080-5536-4205 | 10日(日)～13日(水) Atelier East-West同時開催 アメリカンパッチワーク 佐藤尚子とキルトスプールの仲間展 問合せ 佐藤 049-222-2149 | | | |
| 3 | 5日(火)～10日(日) 平成30年度 東京空襲資料展 問合せ 東京都生活文化局文化振興部 文化事業課記念行事担当 芦田 03-5388-3141 | 14日(木)～16日(土) 古流生花作品展 問合せ 栗原 03-5998-6474 | 17日(日)～21日(木・祝) 第33回 金曜絵画展 問合せ 小笠原 03-3969-4982 | 23日(土)・24日(日) Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 第4回 池袋鉄道模型芸術祭 料金 500円(全施設共通・保護者同伴の 小学生以下は無料) 問合せ 日本鉄道模型の会 03-6914-3581 | 26日(火)～31日(日) Gallery 1・2 Atelier West同時開催 JATDT60周年記念 日本舞台美術家協会展2019 問合せ 秋山 090-1730-4751 |

アーツアカデミー東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修 レクチャーシリーズ《文化政策編》
転換期にある日本の文化政策を考える～5か国との比較から

1月15日(火)・1月29日(火) 19:00開講 リハーサルルームM3

詳細はHPへ



2017年度の文化庁による諸外国の文化政策の調査研究事業で各国の、調査を担った専門研究者を招き、公開レクチャーを開催します。12月に開催した第1回(イギリス・フランス)に続き、第2回・第3回ではアメリカ、韓国、ドイツを取り上げ、各国の文化政策について日本の動向との比較を含めて解説いただき、転換期を迎える日本の文化政策について考えます。

〈1月15日 アメリカ、韓国〉講師:朝倉由希(文化庁地域文化創生本部総括・政策研究グループ 研究官)
関鎖京(北海道教育大学芸術文化政策研究室 准教授)

〈1月29日 ドイツ、総括〉講師:秋野有紀(獨協大学外国語学部 准教授)
コーディネーター:朝倉由希
【料金】各回500円
【お問合せ】東京芸術劇場 事業企画課 教育普及担当 03-5391-2116

ストリートアーティスト・アカデミー レクチャー

1月19日(土) 14:00開講 シンフォニースペース・2月12日(火) 19:00開講 ギャラリー2

詳細はHPへ



ストリートアーティストを生み出すこと、レベルアップを支援することを目的として実施してきた「ストリートアーティスト・アカデミー」。2020年に向けて、ストリートパフォーマンスはどうあるべきなのか、そして、東京オリンピック・パラリンピック以降、ストリートパフォーマンスはどう進んでいくべきなのかを考えます。文化行政の狙い手を聞き手に迎え、多様な視点から掘り下げます。

〈1月19日〉講師:橋本隆雄(大道芸フェスティバルプロデューサー) 聞き手:高萩宏(東京芸術劇場 副館長)
〈2月12日〉講師:橋本隆雄 聞き手:三好勝則(アーツカウンシル東京 機構長)
司会:乗越たかお(作家・ヤサぐれ舞踊評論家)
【料金】各回500円 【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

芸劇+まちがく

1月25日(金)・3月8日(金) 18:30開講 アル・テアトロ(2階)

詳細はHPへ



北川フラム

川添善行

アートが持つポテンシャルを活用した街づくりのパイオニアである北川フラム氏をモデレーターに迎え、アート、文学、演劇、音楽、建築等を切り口に、各回テーマに即したゲストを招き実施しているフォーラム「芸劇+まちがく」。2019年1月は、今注目を集める若手建築家の川添善行氏、3月は、これまでの参加者の中から、各分野で活躍する街づくり活動家・アミューズメント施設経営者・建築家をゲストに開催します。

【料金】各回 一般:3,000円 学生:2,000円(食事付) 【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

第15回 子どもたちと芸術家の出あう街

2月11日(月・祝) コンサートホール、ミーティングルーム、リハーサルルーム ほか

詳細はHPへ



【お問合せ】TOKYO SYMPHONYチケットセンター 044-520-1511
<http://tokyosymphony.jp/pc/kodomo2019/>

第4回 池袋鉄道模型芸術祭

3月23日(土)・24日(日) ギャラリー1・2、アトリエーイスト・ウエスト

詳細はP17へ



鉄道と共に歴史を刻んだ街「池袋」を象徴するイベント「池袋鉄道模型芸術祭」。鉄道模型界を代表するトップモデラーの作品が集まる舞台として、今回で第4回を迎えます。作り込まれた精緻なジオラマや細密な車輛模型、そして懐かしい玩具の汽車が、レトロな昭和のノスタルジーを呼び起こします。鉄道模型の魅力から溢れ出る、鉄道のロマンと楽しさに触れるひと時をお過ごしください。

【お問合せ】日本鉄道模型の会 03-6914-3581

ONE'S voice VOICE.26

インタビュー 東京芸術劇場芸術監督 野田秀樹

場所が変わると “桜”も変わる

シャイヨー劇場に正式招待され、
「ジャポニスム2018」の一環として上演された
『贗作 桜の森の満開の下』。
『THE BEE』(2014)、『エッグ』(2015)に続き
3作目となるパリでの反応やいかに。

—— パリ公演は、東京公演と内容は同じはずなのに、ずいぶん印象が異なりました。

野田 空間と観客が違うと、ぜんぜん違ってきますよね。やっている方も成長すると思うか、環境の違いがこんなにも作品を変えるものなのかと思いました。パリの国立シャイヨー劇場は、客席から舞台の床が見える。今回の演出は、ゴム(を引っ張りさまざまなものに見立てる)場面など、床面が見えると、よりおもしろさがはっきりわかるので、それに対するリアクションも大きかったと思います。

—— フランスの観客は、どういうところに反応していると感じましたか。

野田 おそらく、ビジュアル的なところじゃないかな。物語の構造にまで深く入れたかということ、あれだけの情報量とスピードだから、ついていくのは大変だと思う。あとは偶然に入り込んでいたアンドレ・ジイドの『狭き門』とか、『監獄の誕生』とか、僕らが'70〜'80年代に得たフランス系の文化的なキーワードが出てくると、すごく喜んでましたね。「日本人がこんなに西洋のことを細かく知っているとは！」って(笑)。「監獄の誕生」の部分でも、『狭き門』みたいに「ミシェル・フーコーがそう言った」って付け加えようかとギリギリまで悩みましたが、他との繋がりが悪くなるのでやめました。入れたら大喜びされたと思うんだけどね。結局、せりふで日本公演と変えた部分はまったくありません。



Photo by Nathalie Vu-Dinh



Photo by Nathalie Vu-Dinh

—— 俳優陣が、努めてせりふをクリアに発声しているのも印象的でした。

野田 観客は字幕を通してせりふを理解するので、俳優が発する言葉にダイレクトには反応しにくいんですね。そのせいで、みんな言葉をしっかり自分の頭の中に通して、丁寧にせりふを言うようになっていた。これは稽古場での状況と似ていて、俳優は観客のリアクションが無いから、極力戯曲に対して忠実に臨むことで、自信を得ようとするんです。日本の客の前では、本番になるとほら、だいたいみんなお調子者だから(笑)、お客さんの反応によって芝居が変わったりするけど、そういうことが無いのがよかったですね。お客さんも、微動だにしないで、集中して観てくれているのがわかりました。

—— 字幕の位置が満開の桜の装置にくい込む低い位置にあり、美観より観客への配慮を優先していましたね。

野田 『One Green Bottle』(『表に出ろいっ!』英語版)の韓国公演の時に、字幕が中に入ってくると楽に見られるということがわかったんです。今回は、美術の堀尾幸男さんが、それを許してくれたからできました。ふつう美術家は嫌うんですよね。海外の美術家だったら、絶対にいやだと言う。特に英語圏の美術家は、言葉がわからないということを理解しないから。今回は場面によって位置をずらすなど、相当考えて、細かいことをやっています。それでも、前列の方だと字幕を見上げるので首が疲れると言われたり、いろいろあったけど、休憩後もお客さんの集中力は変わらなかった。二幕になると、急にお客さんはリラックスするんですよね。これは日本でもパリでも同じ。「そうか、こういうことか」という整理ができて、一度落ち着くのかな。『エッグ』は休憩を入れなかったので、一度フォローできなくなると、整理がつかなくなったのかもしれない。

—— 『エッグ』との反応の違いは、大きいものでしたか。

野田 シャイヨー劇場では、『THE BEE』('14)『エッグ』('15)『贗作〜』('18)と3作品やりましたが、3つともぜんぜんテイストが違っていて、それを「前ののがよかったのに」とは言わずに、それぞれ喜んでくれました。『エッグ』と『贗作〜』も、(規模は似ているが)だいふ違うと思う。『贗作〜』は、放射型に世界のイメージが広がっていく話。『エッグ』は、どんどん閉じていく話じゃないかな。最初はスポーツという開かれたもので始まるけど、話が進むにつれて、狭いところに連れて行かれる感じがすると思う。『贗作〜』は、どちらかというイメージがあっちへ行ったりこっちへ行ったりするけど、王と権力と芸術家の位置というものについて、考えようと思えば考えることができる。今回も、やり直してみても新たな発見が多数ありました。30年経ってもまだ上演できることが不思議だけど、敢えてテーマを時代性を伴う特定のものに絞らずに書いているから、まだ作品が生きていられるのだと思う。あのころは、書いているうちに、「この辺に着陸するな」という着陸点が見えてきて、急降下してゆく感じで書いていたんですよね。今は、わりと着陸点を先に定めている感じ。若い時の書き方の方がおもしろいことができると思うけど、これはしょうがない。老いです(笑)。

—— 基本的にパリは、ロンドンに比べて観客の反応が好意的ですよね。

野田 ロンドンは、言語の世界の中心にある英語を持っているという矜持のようなものがあって、それがイギリスの文化の弱点にもなっていると思う。あれだけ国際都市なのに、たとえば『源氏物語』のこともなんか、99.9パーセントの人が知らないし、関心もないでしょう。フランスは、もっと開かれている気がする。王政がなくなって、共和制になったこととも関係があるかもしれませんがね。言語でいえばフランスも、19世紀末まではイギリスと植民地を二分して



Photo by Nathalie Vu-Dinh

いたから、英語とフランス語は世界の言語の双璧だったけど、20世紀に入ってからアメリカが追随してきたことで、英語に覇権を奪われてしまったという事情がある。と、勝手に思ってるんだけど。

—— マイノリティになったことで、異なる言語の相手にも敬意や興味を抱けると。そんなフランスと、芸術監督として今後はどのような付き合い方をしますか。

野田 欲を張れるなら、これまでのように日本の役者と創ったものをフランスに持っていくのと、フランスの人たちに来てもらって日本で作品を創るものの、両方をやりたいんですけどね。僕の作・演出作品をフランスの俳優とやる? うーん、それをやるとしたら、言葉の問題もあるし、7年くらいかかるかな。ただ、タイで『赤鬼』をやった時に痛感したけど、とにかく人間どうしの結びつきがまず大事。お互いが信頼し合えるようになると、言葉が壁になりににくくなり、共同作業がしやすくなるのは確かです。今回は「ジャポニスム2018」のお陰で大規模な公演ができたし、2020年までは文化予算も増えていくと思うけど、問題は、それを継続させることだと思っています。

取材・文:伊達なつめ
屏写真:渡部孝弘

「贗作 桜の森の満開の下」

2018年9月28日(金)~10月3日(水)

フランス パリ・国立シャイヨー劇場
(ジャン・ヴィラル劇場)

Théâtre National de Chaillot/ Salle Jean Vilar



作・演出:野田秀樹~坂口安吾作品集より~

出演:妻夫木聡 深津絵里 天海祐希 古田新太

秋山菜津子 大倉孝二 藤井隆 村岡希美

門脇麦 池田成志 銀粉蝶 野田秀樹

主催:国際交流基金/国立シャイヨー劇場

東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/NODA・MAP

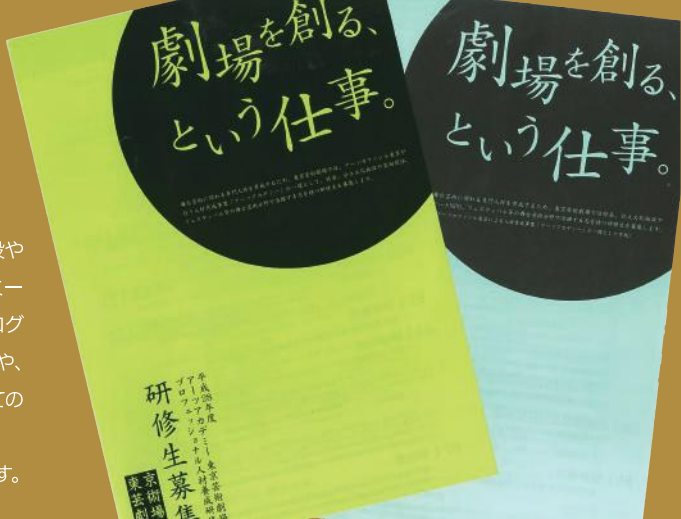
野田秀樹 HIDEKI NODA

劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。92年に「劇団 夢の遊眠社」を解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来『キル』『赤鬼』『バンドラの囃し』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『MIWA』『逆鱗』『足跡姫』『One Green Bottle』など、時代を穿つ話題作を発表。モーツァルト歌劇『フィガロの結婚』-庭師は見た!-等、オペラの演出、海外の俳優やスタッフとの共同制作、2017年は9年ぶりとなる、『野田版 桜の森の満開の下』で歌舞伎の脚本、演出を手がけ、大きな反響を得る。演劇界の旗手として枠を超えた精力的な創作活動を行う。2015年よりブラジル、東北、東京、京都などで、国内外の多種多様な表現者達と新たな幻想的な表現を創出する文化サーカス「東京キャラバン」を実施。2017年、十八代目中村勘三郎とのタッグが話題となった伝説的作品『表に出ろいっ!』を、『THE BEE』の最強キャストとともに、新たな英国版『One Green Bottle』として創作。東京、韓国、ロンドン、ルーマニアで上演。2018年9月~11月、NODA・MAP第22回公演『贗作 桜の森の満開の下』を東京、大阪、北九州、パリで上演し好評を博す。世界を駆け巡り、意欲的に活動を展開している。

アーツアカデミー 東京芸術劇場 プロフェッショナル人材養成研修

東京芸術劇場では、アーツカウンシル東京が行う人材育成事業の一環として、公立文化施設やアートNPO、芸術フェスティバル等の舞台芸術分野で活躍する人材を育てる「アーツアカデミー 東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修」を2013年度より実施してきました。本研修プログラムは、パフォーミング・アーツに関わるプロデューサーやコーディネーターとしての資質向上や、芸術分野でのキャリアチェンジに資する目的で、レクチャーやゼミ、現場での実務研修を通しての知識や技能の習得や、舞台芸術関係のネットワーク形成の機会を提供しています。

今回は、この研修プログラムを経験し、現在、様々な場で活躍する元研修生の声をお届けします。



大丸敦子
2013-14年度研修生(音楽分野)長期コース
兵庫県立芸術文化センター 勤務

約2年間の研修期間の最後に、同期の演劇の研修生と共に、研修生企画公演として「OFF CLASSICS ~失われたリズムを求めて」の企画制作を行いました。現代音楽とコンテンポラリーダンスのコラボレーション公演として、アーティストや会場の手配、曲目の選定などをイチから行い、また、舞台技術チームの全面的なバックアップにより、舞台セットや演奏用プログラミングもオリジナルで作製するなど、芸劇の研修生ならではの公演となりました。コアな層向けの公演内容ながらチケットも完売！研修の集大成となったこの公演を通して、プロデュースの大変さと喜びを改めて知り、この時の経験は現在の仕事にも活かしています。



中粉将樹
2015年度研修生(音楽分野)長期コース
りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 勤務

研修生として東京芸術劇場開館25周年記念コンサート「ジョフ・ド・ヴィーヴルへ生きる喜び」に携わりました。多くの方が関わる一大プロジェクトに、研修生でありながら参加できたことは貴重な経験でした。大学のアーツマネジメントの学部では体験できない本物の緊張感、現場の動き、アクシデントを経験することで、より深く「制作」という仕事を学ぶことができたと思います。研修生のレポート課題では、現場仕事と並行して日本・世界のアーツマネジメントについて理解を深める時間をもつことができ、自分の飛び込もうとしている業界について様々な視点から学ぶことができたと思います。



今井俊介
2016年度研修生(音楽分野)長期コース
東京芸術劇場 勤務

音楽大学在籍時は「演奏すること」を専門に勉強しており、所謂アーツマネジメントの知識や経験は、学生オーケストラを運営する程度。座学と現場が絡み合ったアーツアカデミーのカリキュラムが、今の私を育ててくれました。特に非常に短いスパンで数多く提出する報告書を書く時間は、得た知識や現場経験を頭の中で醸成させ自分の言葉として発信する癖を身につける、非常に大切な時間だったと感じています。人類が長い長い時間をかけて育んできた文化である音楽を、たまたま21世紀に預かった担い手のひとりとして、次の世代へ引き継いで参ります。



山際真奈
2017年度研修生(教育普及分野)短期コース
上智大学大学院 在学

アーツアカデミー研修の醍醐味は、現場での驚きや課題を肌で感じると同時に、劇場内外でアーツマネジメントの知識を習得できたことです。英国フロンティック・アセンブリーによるワークショップの際には、特に関心のあった社会関与の芸術という視点から、「芸術性とは何か」という問いを深めることができました(猿やダチョウになれることも魅力の一つでしょうか...)。現在は、大学院で芸術哲学を中心に学んでいますが、研修での出会いや課題意識があったからこそ、机上の理論に留まらない思考や表現を心がけることができています。

佐々木千尋 2015-16年度研修生(演劇分野)長期コース
としま未来文化財団 勤務

演劇で仕事がしたい。しかし、演劇で仕事をするとはどういうことなのだろうか。この研修に参加した一番の動機です。漠然としていた演劇を仕事にすることということが、劇場での実務研修や多様なレクチャー・ゼミを重ねる中で「地域における公立文化施設の役割」や「役割を果たすための文化芸術の普及について」考えるようになり、自分が今やりたい仕事としての演劇がみえてきました。多角的に学び、多くの出会いに恵まれた2年間は、様々な世代の地域の人と、演劇だけではなく、多様な文化芸術の活動に関わる、現在の仕事との出会いにつながっています。

鹿野遼太郎 2017年度研修生(演劇分野)長期コース
某企業 勤務

約1年間の研修の中でも特に印象に残っているのは、人材育成事業や社会包摂に関わる事業です。今まで制作や企画という立場で舞台や表現に関わってきた自分にとって、なかなか触れることのなかったそれら領域での経験は、自分の価値観に大きく影響を与えてくれたものであり、今後の自身の道を定める上で、非常に大きな意味を持ったものになりました。悩むことや大変だったこともありましたが、こうして振り返ったときに、アーツアカデミーでの経験があったからこそ、今の自分がいるのだとあらためて感じています。

I N F O R M A T I O N

鑑賞サポート | 目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス(対象日限定・無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

1~3月
対象公演

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.25
東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.130、131
「Le Père 父」

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296



感動を、心ゆくまで味わっていただくために。

ヴォートルは、コンサートや演劇公演の受付案内・チケット販売業務のスペシャリストです。



スタッフ募集中

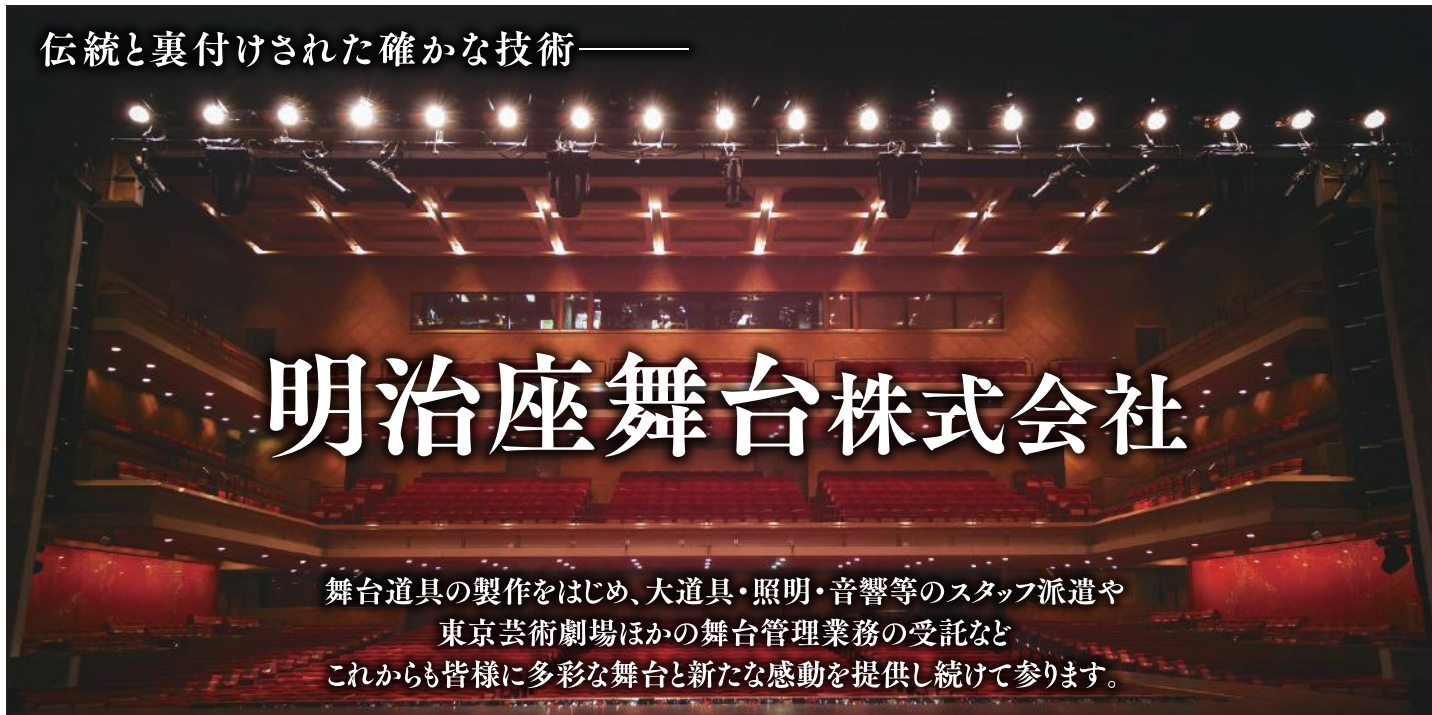
私たちと一緒に劇場で働きませんか？ 詳しい求人情報は、ウェブで。

ヴォートル 求人

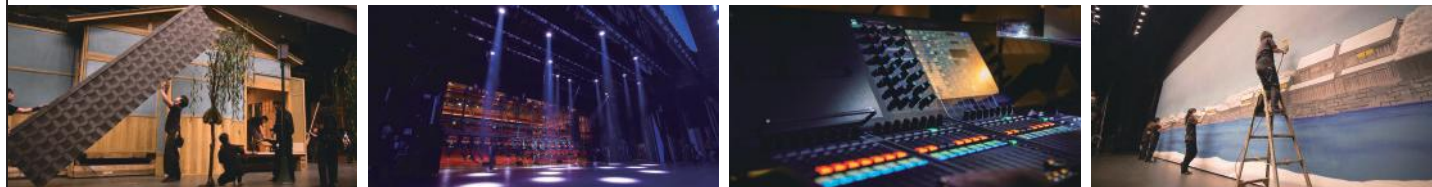


株式会社ヴォートル 〒156-0043 東京都世田谷区松原 3-40-7 Pine Field Bldg. 4F TEL 03-5355-1277 <http://www.votre.co.jp>

伝統と裏付けされた確かな技術——



舞台道具の製作をはじめ、大道具・照明・音響等のスタッフ派遣や
東京芸術劇場ほかの舞台管理業務の受託など
これからも皆様に多彩な舞台と新たな感動を提供し続けて参ります。



スタッフ募集中——

東京芸術劇場をはじめ各事業所にて技術スタッフを募集しています。
お気軽にお問い合わせ下さい。

明治座舞台株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1
TEL:03-3660-3919 <http://butai.meijiza.co.jp/>